RKU

2016
履修要綱

法学部

流通経済大学

目　次

学部の教育方針 …… 2

入学年度別教育課程表①～㉔ …… 5

履修の手引 …… 31

1．セメスター制 …… 33

2．単　位　制 …… 33

3．最高履修単位数 …… 33

4．3学年進級に必要な単位数 …… 34

5．卒　　業 …… 34

6．科目の履修 …… 35

7．単位の修得 …… 35

8．休講と補講 …… 36

9．出席調査 …… 36

10．災害時の授業 …… 36

11．試　　験 …… 36

12．不正行為 …… 37

13．成績評価 …… 37

14．ＧＰＡ …… 38

15．単位の認定 …… 39

16．他キャンパス受講 …… 41

17．キャンパス変更（スポーツ健康科学部は除く） …… 41

18．履修の方法【2015年度・2014年度・2013年度の入学生】 …… 42

19．履修の方法【2008年度～2012年度の入学生】 …… 46

20．卒業に必要な総単位数 …… 50

21．資格の取得について …… 51

22．コース制と履修モデル・ガイドライン　2013年度以降入学生 …… 54

23．コース制と履修モデル・ガイドライン　2008年度～2012年度入学生 …… 55

法学部の教育方針

法学部では、法律の知識に基づく論理的思考やバランス感覚を身に付け、幅広く奥行きのある教養と人間性をも備えた人材の養成を目的とする（流通経済大学学則 第４条の 2)。

わが国は、従来のいわゆる護送船団方式による事前調整型社会から、自己責任に基づく事後規制型社会へと大きく方向転換しつつあります。しかも、現代社会は、グローバル化が急速に進み、高度に複雑な社会となっています。このような中、今日の企業は、グローバルな国際競争にさらされているとともに、その社会的責任が強く求められています。とりわけ、最近では、企業の犯罪や不祥事が多発続発し、企業活動に法令遵守（コンプライアンス）や企業統治（ガバナンス）の重要性が強調されています。自治体においても、地方分権が進展する中、地域の直面する諸課題の解決や多様な施策・立案をそれぞれの自治体の決定と責任の下で行わなければならなくなっており、法的対応の必要性はここでも不可避となっています。

法学部では、こうした時代の要請に応えるともに、本学の理念の１つである実学主義教育の下で、法律学を学ぶ上で必要な知識、論理的思考やバランス感覚（リーガル・マインド）を身につけ、しかも、幅広くて奥行きのある教養と人間性を備え、実業界、地方自治団体・非営利団体の中で活躍する人材を育成することを目的としています。

ビジネス法学科の指導方針

教育目的（流通経済大学・学則・第４条の２）

ビジネス法学科では、企業活動における法令遵守や企業統治の現代的意義を深く理解し、ビジネス界で実践できる人材の養成を目的とする。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

ビジネス法学科は、学部の教育目的の下、企業活動における法令遵守（コンプライアンス）や企業統治（コーポレート・ガバナンス）の現代的意義を深く理解し、実社会で活躍できる人材の育成を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（法学）の学位を授与する。

１．さまざまな問題の解決に必要な法的思考能力（リーガル・マインド）
２．企業活動における法令遵守（コンプライアンス）や企業統治（コーポレート・ガバナンス）に関する知識
３．グローバル時代に対応した法知識と能力
４．幅広く奥行きのある教養および豊かな人間性に裏打ちされたコミュニケーション能力

カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

学部の教育目的を達成するとともに、ディプロマポリシーが求める人材養成方針を満たすために、ビジネス法学科では以下のような科目を提供する。

１．法的思考能力を身に付けるための基礎を形成する科目、およびコミュニケーション能力や課題発見・解決能力を育成する演習科目
２．法的思考能力を養成する科目
３．コンプライアンス、コーポレート・ガバナンスについての知識や判断能力を養成し、あわせてその背景となる経済・社会情勢に対する理解を深める科目
４．コンプライアンス、コーポレート・ガバナンスについての知識を踏まえたうえで、専門的なコミュニケーションを図る能力を養成する科目
５．法的思考の背景を支える、幅広く奥行きのある教養と豊かな人間性を形成するのに資する科目
６．将来のキャリア形成に資する科目
７．幅広い視野を身に付けるための法学に関連の深い他学部・他学科の副専攻科目

自治行政学科の指導方針

教育目的（流通経済大学・学則・第４条の２）

自治行政学科では、地方自治を担う人材を養成すべく、専門の法律や政治・行政について理解し、地方自治に関わる分野で、法的思考力や政策形成能力を発揮できる人材の養成を目的とする。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

自治行政学科は、学部の教育目的の下、公務員・NPO 職員等として公共の一翼を担うことのできる人材、および地方自治に関わるさまざまな分野で活躍できる人材の育成を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（法学）の学位を授与する。

１．地方自治の発展、地域社会の活性化、住みよいまちづくりに関する知識
２．公務員・NPO 職員等として、行政その他公共の一翼を担うことのできる法的思考能力・政策形成能力
３．会得した知識を活用し、地方自治や地域社会に関わるさまざまな分野で活躍できる能力
４．幅広く奥行きのある教養および豊かな人間性に裏打ちされたコミュニケーション能力

カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

学部の教育目的を達成するとともに、ディプロマポリシーが求める人材養成方針を満たすために、自治行政学科では以下のような科目を提供する。

１．法的思考能力を身に付けるための基礎を形成する科目、およびコミュニケーション能力や課題発見・解決能力を育成する演習科目
２．行政その他公共の一翼を担いうるに必要な法的思考能力、政策形成能力を養成する科目
３．地方自治の発展、地域社会の活性化、住みよいまちづくりに関する具体的知識を獲得するのに資する科目
４．地方自治における諸課題を発見し、解決を図るために必要な能力・知識を養成するための科目
５．地方自治や地域社会をめぐる法的・政策的問題をより広い視野から分析する能力を養成する科目
６．法的思考の背景を支える、幅広く奥行きのある教養と豊かな人間性を形成するのに資する科目
７．将来のキャリア形成に資する科目
８．幅広い視野を身に付けるための法学に関連の深い他学部・他学科の副専攻科目

入 学 年 度 別 教 育 課 程 表

2016年度入学生

法学部ビジネス法学科　入学年度別教育課程表①

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
必修科目		1年演習	4	2年演習	4	3年演習	4	4年演習	4	16単位	必修科目30単位を履修しなければならない。
				リベラルアーツ入門	2					2単位	
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位	
		国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ	各2							8単位	
選択必修科目	外国語（注1）	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1						1カ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ (外)日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目 キャリア形成	RKU入門	1	RKU実践					1	4単位以上	
		キャリアデザイン		キャリアマネジメント	各2						
				キャリアカウンセリング					2		
						(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
		海外研修							2		
		資格取得	(別記1)						各1		
			(別記2)						各2		
			(別記3)						各4		
		(特)キャリア特講(基礎)	2	(特)キャリア特講(発展)	2	(特)キャリア特講(職業)	2				
		(特)グローバルコミュニケーション(基礎)	1	(特)グローバルコミュニケーション(発展)	1						
		災害ボランティアⅠ・Ⅱ							各1		
	社会・企業研究			日本通運寄付講座 ダイレクトマーケティング実践講座		野村證券寄付講座 業界研究特別講座		全国通運連盟寄付講座	各2		
				インターンシップ基礎		インターンシップ			各2		
		インターンシップ(海外)							2		
	学科選定	法とキャリア(入門) 法とキャリア(初級)Ⅰ・Ⅱ	各2	法務・行政実習 法とキャリア(中級・私法1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・私法2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合3)Ⅰ・Ⅱ	各2	法とキャリア(上級)Ⅰ・Ⅱ			各2		
	進路支援	キャリア基礎(数理)		キャリア基礎(言語)	各1						
		キャリア発展(数理)		キャリア発展(言語)	各1						
						職業選択論			2		
	教養基礎科目 言葉や思想に関する領域	哲学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の思想		論理学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ		教育学Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ	各2	24単位以上	
	社会や健康に関する領域	社会学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 外国文化論(西欧)Ⅰ・Ⅱ		経済学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在		人文地理学Ⅰ・Ⅱ 日本文化論Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情		健康科学論Ⅰ・Ⅱ 外国文化論(アジア)Ⅰ・Ⅱ			
	自然や環境に関する領域	数学Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ		地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ		生態学Ⅰ・Ⅱ 自然地理学Ⅰ・Ⅱ		自然環境論Ⅰ・Ⅱ			
	歴史や文学に関する領域	文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(西洋史)Ⅰ・Ⅱ		文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(東洋史)Ⅰ・Ⅱ 美術史Ⅰ・Ⅱ			
	専門基礎科目	ビジネス法入門	2	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法(家族法)Ⅰ・Ⅱ 刑法(総論)Ⅰ・Ⅱ 行政法(行政作用法)Ⅰ・Ⅱ スポーツと法(公法)		民法(物権) 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 刑法(各論)Ⅰ・Ⅱ 刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ スポーツと法(行政)		民法(債権総論) 法と文化(日本)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(韓国)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(中国)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(欧米)Ⅰ・Ⅱ	各2	36単位以上	
						民法(契約法) 商法(会社法)Ⅰ・Ⅱ 商法(総則・商行為法) 行政法(行政救済法)Ⅰ・Ⅱ スポーツと法(事故・人権)		民法(不法行為法) 国際ビジネス法Ⅰ・Ⅱ 消費者法Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ スポーツと法(契約)			

			1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要
選択科目	専門発展科目				経済法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ 観光と法 法学特殊講義Ⅰ・Ⅱ	各2	社会保障法Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ 日本政治論Ⅰ・Ⅱ 地方自治論Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法 商法（手形・小切手法） 物流関係法 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ 地方自治法 公共政策Ⅰ・Ⅱ	各2	国際法Ⅰ・Ⅱ 現代の政治思想 コミュニティ政策論 防災政策論Ⅰ・Ⅱ 商法（保険法） 金融取引法 知的財産法 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 警察・消防法特殊講義Ⅰ・Ⅱ	各2	左記科目の中から84単位以上を履修しなければならない。（注2）
選択科目	学部共通科目	経済学（注2）	統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ	各2	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 財政学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ		国際経済論Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ 社会保障論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ		産業組織論Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ 情報経済論Ⅰ・Ⅱ 公共経済学Ⅰ・Ⅱ 地域経済論Ⅰ・Ⅱ	各2	
選択科目	学部共通科目	経営学（注3）	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	会計学Ⅰ・Ⅱ 流通論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス論Ⅰ・Ⅱ 事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 流通政策論Ⅰ・Ⅱ		管理会計論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーファイナンス 財務会計論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論		監査論Ⅰ・Ⅱ 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ ネットワーク経営論 国際小売論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ	各2	
選択科目	学部共通科目	社会学（注4）	社会調査法 社会調査実践法	各2	家族社会学Ⅰ・Ⅱ 地域社会学 地域空間論 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 産業社会学 国際社会学 グローバル化と文化 公的扶助論		介護福祉論 経済社会学 開発社会学 余暇社会学 観光心理学 文化人類学 児童・家庭福祉論 福祉行財政と福祉計画論		社会心理学 対人関係論 防災社会論 障害者福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 老人福祉論	各2	
選択科目	学部共通科目	流通情報学（注5）	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ		流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 通信・ネットワーク概論 情報応用システム論 災害ロジスティクス論		ヒューマンインターフェイス論 エルゴノミクス論 情報科学Ⅰ・Ⅱ	各2	
選択科目	学部共通科目	スポーツ健康科学（注6）			スポーツと政治 スポーツマネジメント論 スポーツとメディア スポーツ心理学 コーチング論		スポーツと国際協力 スポーツ社会学 発育発達老化の理論・実習 体力トレーニング論		スポーツと文化 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防 健康づくりとジョギング	各2	
教養発展科目			社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ	各2	防災科学Ⅰ・Ⅱ		現代女性論Ⅰ・Ⅱ		メディア論Ⅰ・Ⅱ	各2	
教養発展科目							英書講読Ⅰ・Ⅱ			各2	
教養発展科目		外国語	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ			各1	
教養発展科目		外国語	留学英会話Ⅰ・Ⅱ（注7） 留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ（注7）							各1	
教養発展科目		外国語	選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ	各1	
教養発展科目		外国語			選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語中級Ⅰ・Ⅱ		
教養発展科目		外国語					選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語上級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		
教養発展科目		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ							各1	
教養発展科目	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論	各2	教育課程論 特別活動論 生徒指導論 教育相談 道徳教育論	各2	視聴覚教育 教育方法学	各2			
卒業に必要な単位											124単位以上

（外）は外国人留学生の科目を示す。
（特）印の科目は特別奨学生の指定科目でそれ以外の学生は受講できません。
（注1）　1学年、2学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、1学年で（外）日本語AⅠ・AⅡ、（外）日本語BⅠ・BⅡ、2学年で（外）日本語CⅠ・CⅡ、（外）日本語DⅠ・DⅡ、（外）日本語EⅠ・EⅡを履修しなければならない。
（注2）　この欄の科目および教養基礎科目の［経済学Ⅰ・Ⅱ］から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
（注3）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。
（注4）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「社会学」を修了した旨の認定を行う。
（注5）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。
（注6）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。
（注7）　外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

	ポイント	認定単位数	資格・検定試験の種類
別記1	10	1単位	漢字検定準2級　秘書技能検定準1級　秘書技能検定1級 簿記検定3級　販売士2級　秘書技能検定2級　話しことば検定3級　話しことば検定2級　日商PC（文書作成）3級　日商PC（データ活用）3級 日商PC（プレゼン資料作成）3級　MOS（スペシャルリストレベル）／MCAS（Word）MOS（スペシャルリストレベル）／MCAS（Excel）ドットコムマスターBASIC
別記2	20	2単位	漢字検定2級　宅地建物取引士　簿記検定1級　販売士1級　簿記検定2級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定1級　福祉住環境コーディネイター2級　日商PC（文書作成）2級　日商PC（データ活用）2級　日商PC（プレゼン資料作成）2級経済学検定（B/B+ランク）　経済学検定（ミクロ・マクロ）Aランク　ファイナンシャルプランナー3級　ITパスポート　医療事務技能審査試験　ドットコムマスターシングルスター
別記3	40	4単位	社会保険労務士　行政書士　司法書士　公認会計士　税理士（1科目のみ）　通関士　初級システムアドミニストレーター　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者試験　ファイナンシャルプランナー2級　経済学検定（Aランク以上）

2016年度入学生

法学部自治行政学科　入学年度別教育課程表 ③

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
必修科目		1年演習	4	2年演習	4	3年演習	4	4年演習	4	16単位	必修科目30単位を履修しなければならない。
				リベラルアーツ入門					2	2単位	
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位	
		国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ	各2							8単位	
選択必修科目	外国語（注1）	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1						1カ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。	
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ (外)日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目 キャリア形成	RKU入門	1	RKU実践						4単位以上	
		キャリアデザイン		キャリアマネジメント	各2						
				キャリアカウンセリング					2		
						(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
		海外研修							2		
		資格取得	(別記1)						各1		
			(別記2)						各2		
			(別記3)						各4		
		(特)キャリア特講(基礎)	2	(特)キャリア特講(発展)	2	(特)キャリア特講(職業)	2				
		(特)グローバルコミュニケーション(基礎)	1	(特)グローバルコミュニケーション(発展)	1						
	社会・企業研究	災害ボランティアⅠ・Ⅱ							各1		
				日本通運寄付講座 ダイレクトマーケティング実践講座		野村證券寄付講座 業界研究特別講座		全国通運連盟寄付講座	各2		
				インターンシップ基礎		インターンシップ			各2		
		インターンシップ(海外)							2		
	学科選定	法とキャリア（入門） 法とキャリア(初級)Ⅰ・Ⅱ	各2	法務・行政実習 法とキャリア(中級・私法1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・私法2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合3)Ⅰ・Ⅱ	各2	法とキャリア(上級)Ⅰ・Ⅱ			各2		
	進路支援	キャリア基礎（数理）		キャリア基礎（言語）	各1						
		キャリア発展（数理）		キャリア発展（言語）	各1						
						職業選択論			2		
	教養基礎科目 言葉や思想に関する領域	哲学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ （外）日本の思想		論理学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ		教育学Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ	各2	24単位以上	
	社会や健康に関する領域	社会学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 外国文化論(西欧)Ⅰ・Ⅱ		経済学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ （外）日本の現在		人文地理学Ⅰ・Ⅱ 日本文化論Ⅰ・Ⅱ （外）日本事情		健康科学論Ⅰ・Ⅱ 外国文化論(アジア)Ⅰ・Ⅱ			
	自然や環境に関する領域	数学Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ		地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ		生態学Ⅰ・Ⅱ 自然地理学Ⅰ・Ⅱ		自然環境論Ⅰ・Ⅱ			
	歴史や文学に関する領域	文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(西洋史)Ⅰ・Ⅱ		文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(東洋史)Ⅰ・Ⅱ 美術史Ⅰ・Ⅱ			
	専門基礎科目	自治行政入門	2	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ スポーツと法（公法）		行政法(行政作用法)Ⅰ・Ⅱ 民法(債権総論) 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 日本政治論Ⅰ・Ⅱ 地方自治論Ⅰ・Ⅱ スポーツと法（行政）		法と文化(日本)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(韓国)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(中国)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(欧米)Ⅰ・Ⅱ コミュニティ政策論	各2	36単位以上	
						民法（契約法） 行政法（行政救済法）Ⅰ・Ⅱ 地方自治法 スポーツと法(事故・人権)		民法（不法行為法） 公共政策Ⅰ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ スポーツと法（契約）	各2		

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要
選択科目	専門発展科目			刑法（各論）Ⅰ・Ⅱ 社会保障法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ 現代の政治思想 法学特殊講義Ⅰ・Ⅱ		刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ 観光と法		民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 国際法Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法 防災政策論Ⅰ・Ⅱ	各2	左記科目の中から84単位以上を履修しなければならない。
						労働法Ⅰ・Ⅱ 商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 商法（総則・商行為法） 商法（手形・小切手法） 物流関係法 知的財産法		消費者法Ⅰ・Ⅱ 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ 商法（保険法） 国際ビジネス法Ⅰ・Ⅱ 金融取引法 警察・消防法特殊講義Ⅰ・Ⅱ		
	学部共通科目 経済学（注2）	統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ	各2	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 財政学Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ 情報経済論Ⅰ・Ⅱ		マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ 地域経済論Ⅰ・Ⅱ		社会保障論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ 公共経済学Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ	各2	
	学部共通科目 経営学（注3）	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	会計学Ⅰ・Ⅱ 流通論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス論Ⅰ・Ⅱ 事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 流通政策論Ⅰ・Ⅱ		管理会計論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーファイナンス 財務会計論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論		監査論Ⅰ・Ⅱ 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ ネットワーク経営論 国際小売論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ	各2	
	学部共通科目 社会学（注4）	社会調査法 社会調査実践法	各2	家族社会学Ⅰ・Ⅱ 地域社会学 地域空間論 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 産業社会学 国際社会学 グローバル化と文化 公的扶助論		介護福祉論 経済社会学 開発社会学 余暇社会学 観光心理学 文化人類学 児童・家庭福祉論 福祉行財政と福祉計画論		社会心理学 対人関係論 防災社会論 障害者福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 老人福祉論	各2	
	学部共通科目 流通情報学（注5）	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ		流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 通信・ネットワーク概論 情報応用システム論 災害ロジスティクス論		ヒューマンインターフェイス論 エルゴノミクス論 情報科学Ⅰ・Ⅱ	各2	
	学部共通科目 スポーツ健康科学（注6）			スポーツと政治 スポーツ社会学 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防 健康づくりとジョギング		スポーツと国際協力 スポーツと文化 スポーツ心理学 コーチング論		スポーツマネジメント論 スポーツとメディア 発育発達老化の理論・実習 体力トレーニング論	各2	
	教養発展科目	社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ		現代女性論Ⅰ・Ⅱ		メディア論Ⅰ・Ⅱ	各2	
	教養発展科目					英書講読Ⅰ・Ⅱ				
	教養発展科目 外国語	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ			各1	
	教養発展科目 外国語	留学英会話Ⅰ・Ⅱ（注7）							各1	
	教養発展科目 外国語	留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ（注7）								
	教養発展科目 外国語	選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ	各1	
	教養発展科目 外国語			選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語中級Ⅰ・Ⅱ	各1	
	教養発展科目 外国語					選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語上級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		
	教養発展科目 体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ							各1	
	教職科目	教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論	各2	教育課程論 特別活動論 生徒指導論 教育相談 道徳教育論	各2	視聴覚教育 教育方法学	各2			
卒業に必要な単位										124単位以上

（外）は外国人留学生の科目を示す。
（特）印の科目は特別奨学生の指定科目でそれ以外の学生は受講できません。
（注1）　1学年、2学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、1学年で（外）日本語AⅠ・AⅡ、（外）日本語BⅠ・BⅡ、2学年で（外）日本語CⅠ・CⅡ、（外）日本語DⅠ・DⅡ、（外）日本語EⅠ・EⅡを履修しなければならない。
（注2）　この欄の科目および教養基礎科目の［経済学Ⅰ・Ⅱ］から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
（注3）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。
（注4）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「社会学」を修了した旨の認定を行う。
（注5）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。
（注6）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。
（注7）　外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

	ポイント	認定単位数	資格・検定試験の種類
別記1	10	1単位	漢字検定準2級　秘書技能検定準1級　秘書技能検定1級 簿記検定3級　販売士2級　秘書技能検定2級　話しことば検定3級　話しことば検定2級　日商PC（文書作成）3級　日商PC（データ活用）3級 日商PC（プレゼン資料作成）3級　MOS（スペシャルリストレベル）／MCAS（Word）MOS（スペシャルリストレベル）／MCAS（Excel）ドットコムマスターBASIC
別記2	20	2単位	漢字検定2級　宅地建物取引士　簿記検定1級　販売士1級　簿記検定2級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定1級　福祉住環境ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ2級　日商PC（文書作成）2級　日商PC（データ活用）2級　日商PC（プレゼン資料作成）2級 経済学検定（B/B+ランク）　経済学検定（ミクロ・マクロ）Aランク　ファイナンシャルプランナー3級　ITパスポート　医療事務技能審査試験　ドットコムマスターシングルスター
別記3	40	4単位	社会保険労務士　行政書士　司法書士　公認会計士　税理士（1科目のみ）　通関士　初級システムアドミニストレーター　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者試験　ファイナンシャルプランナー2級　経済学検定（Aランク以上）

2015年度入学生

法学部ビジネス法学科　入学年度別教育課程表⑤

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
必修科目		1年演習	4	2年演習	4	3年演習	4	4年演習	4	16単位	必修科目30単位を履修しなければならない。
				リベラルアーツ入門	2					2単位	
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位	
		国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ	各2							8単位	
選択必修科目	外国語（注1）	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1						1カ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ (外)日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目 キャリア形成	RKU入門	1	RKU実践					1	4単位以上	
		キャリアデザイン		キャリアマネジメント	各2						
				キャリアカウンセリング					2		
						(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
		海外研修							2		
		資格取得	(別記1)						各1		
			(別記2)						各2		
			(別記3)						各4		
		(特)キャリア特講(基礎)	2	(特)キャリア特講(発展)	2	(特)キャリア特講(職業)	2				
		(特)グローバルコミュニケーション(基礎)	1	(特)グローバルコミュニケーション(発展)	1						
		災害ボランティアⅠ・Ⅱ							各1		
	社会・企業研究			日本通運寄付講座 ダイレクトマーケティング実践講座		野村證券寄付講座 業界研究特別講座		全国通運連盟寄付講座	各2		
				インターンシップ基礎		インターンシップ			各2		
		インターンシップ(海外)							2		
	学科選定	法とキャリア(入門) 法とキャリア(初級)Ⅰ・Ⅱ	各2	法務・行政実習 法とキャリア(中級・私法1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・私法2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合3)Ⅰ・Ⅱ	各2	法とキャリア(上級)Ⅰ・Ⅱ			各2		
	進路支援	キャリア基礎(数理)		キャリア基礎(言語)	各1						
		キャリア発展(数理)		キャリア発展(言語)	各1						
						職業選択論			2		
						就職準備講座			1		
	教養基礎科目 言葉や思想に関する領域	哲学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の思想		論理学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ		教育学Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ	各2	24単位以上	
	社会や健康に関する領域	社会学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 外国文化論(西欧)Ⅰ・Ⅱ		経済学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在		人文地理学Ⅰ・Ⅱ 日本文化論Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情		健康科学論Ⅰ・Ⅱ 外国文化論(アジア)Ⅰ・Ⅱ			
	自然や環境に関する領域	数学Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ		地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ		生態学Ⅰ・Ⅱ 自然地理学Ⅰ・Ⅱ		自然環境論Ⅰ・Ⅱ			
	歴史や文学に関する領域	文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(西洋史)		文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(東洋史) 美術史Ⅰ・Ⅱ			
	専門基礎科目	ビジネス法入門	2	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法(家族法)Ⅰ・Ⅱ 刑法(総論)Ⅰ・Ⅱ 行政法(行政作用法)Ⅰ・Ⅱ スポーツと法(公法)		民法(物権) 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 刑法(各論)Ⅰ・Ⅱ 刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ スポーツと法(行政)		民法(債権総論) 法と文化(日本)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(韓国)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(中国)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(欧米)Ⅰ・Ⅱ	各2	36単位以上	
						民法(契約法) 商法(会社法)Ⅰ・Ⅱ 商法(総則・商行為法) 行政法(行政救済法)Ⅰ・Ⅱ スポーツと法(事故・人権)		民法(不法行為法) 国際ビジネス法Ⅰ・Ⅱ 消費者法Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ スポーツと法(契約)			

			1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要
選択科目	専門発展科目				経済法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ 観光と法 法学特殊講義Ⅰ・Ⅱ		社会保障法Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ 日本政治論Ⅰ・Ⅱ 地方自治論Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法		国際法Ⅰ・Ⅱ 現代の政治思想 コミュニティ政策論 防災政策論Ⅰ・Ⅱ	各2	左記科目の中から84単位以上を履修しなければならない。(注2)
							商法(手形・小切手法) 物流関係法 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ 地方自治法 環境と法 公共政策Ⅰ・Ⅱ 法とコミュニケーション(英語)Ⅰ・Ⅱ		商法(保険法) 金融取引法 知的財産法 環境政策 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 警察・消防法特殊講義Ⅰ・Ⅱ	各2	
	学部共通科目	経済学(注2)	統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ	各2	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 財政学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ		国際経済論Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ 社会保障論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ		産業組織論Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ 情報経済論Ⅰ・Ⅱ 公共経済学Ⅰ・Ⅱ 地域経済論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		経営学(注3)	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	会計学Ⅰ・Ⅱ 流通論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス論Ⅰ・Ⅱ 事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 流通政策論Ⅰ・Ⅱ		管理会計論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーファイナンス 財務会計論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論		監査論Ⅰ・Ⅱ 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ ネットワーク経営論 国際小売論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		社会学(注4)	社会調査法 社会調査実践法	各2	家族社会学Ⅰ・Ⅱ 地域社会学 地域空間論 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 産業社会学 国際社会学 グローバル化と文化 公的扶助論		介護福祉論 経済社会学 開発社会学 余暇社会学 観光心理学 文化人類学 児童・家庭福祉論 福祉行財政と福祉計画論		社会心理学 対人関係論 防災社会論 障害者福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 老人福祉論	各2	
		流通情報学(注5)	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ		流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 通信・ネットワーク概論 情報応用システム論 災害ロジスティクス論		ヒューマンインターフェイス論 エルゴノミクス論 情報科学Ⅰ・Ⅱ	各2	
		スポーツ健康科学(注6)			スポーツと政治 スポーツマネジメント論 スポーツとメディア スポーツ心理学 コーチング論		スポーツと国際協力 スポーツ社会学 発育発達老化の理論・実習 体力トレーニング論		スポーツと文化 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防 健康づくりとジョギング	各2	
	教養発展科目		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ		現代女性論Ⅰ・Ⅱ		メディア論Ⅰ・Ⅱ	各2	
					歴史学特殊講義(東洋史) 歴史学特殊講義(西洋史)		歴史学特殊講義(日本史)Ⅰ・Ⅱ 英書講読Ⅰ・Ⅱ			各2	
		外国語	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ			各1	
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ(注7) 留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ(注7)							各1	
			選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ	各1	
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語中級Ⅰ・Ⅱ		
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語上級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ							各1	
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論	各2	教育課程論 特別活動論 生徒指導論 教育相談 道徳教育論	各2	視聴覚教育 教育方法学	各2			
卒業に必要な単位											124単位以上

(外)は外国人留学生の科目を示す。
(特)印の科目は特別奨学生の指定科目でそれ以外の学生は受講できません。
(注1) 1学年、2学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、1学年で(外)日本語AⅠ・AⅡ、(外)日本語BⅠ・BⅡ、2学年で(外)日本語CⅠ・CⅡ、(外)日本語DⅠ・DⅡ、(外)日本語EⅠ・EⅡを履修しなければならない。
(注2) この欄の科目および教養基礎科目の[経済学Ⅰ・Ⅱ]から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
(注3) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。
(注4) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「社会学」を修了した旨の認定を行う。
(注5) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。
(注6) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。
(注7) 外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

	ポイント	認定単位数	資格・検定試験の種類
別記1	10	1単位	漢字検定準2級　秘書技能検定準1級　秘書技能検定1級 簿記検定3級　販売士2級　秘書技能検定2級　話しことば検定3級　話しことば検定2級　日商PC(文書作成)3級　日商PC(データ活用)3級 日商PC(プレゼン資料作成)3級　MOS(スペシャルリストレベル)／MCAS(Word)MOS(スペシャルリストレベル)／MCAS(Excel)ドットコムマスターBASIC
別記2	20	2単位	漢字検定2級　宅地建物取引士　簿記検定1級　販売士1級　簿記検定2級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定1級　福祉住環境コーディネーター2級　日商PC(文書作成)2級　日商PC(データ活用)2級　日商PC(プレゼン資料作成)2級経済学検定(B/B+ランク)　経済学検定(ミクロ・マクロ)Aランク　ファイナンシャルプランナー3級　ITパスポート　医療事務技能審査試験　ドットコムマスターシングルスター
別記3	40	4単位	社会保険労務士　行政書士　司法書士　公認会計士　税理士(1科目のみ)　通関士　初級システムアドミニストレーター　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者試験　ファイナンシャルプランナー2級　経済学検定(Aランク以上)

法学部自治行政学科　入学年度別教育課程表 ⑦

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
必修科目		1年演習	4	2年演習	4	3年演習	4	4年演習	4	16単位	必修科目30単位を履修しなければならない。
				リベラルアーツ入門					2	2単位	
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位	
		国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ	各2							8単位	
選択必修科目	外国語（注1）	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1						1カ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ (外)日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目 キャリア形成	RKU入門	1	RKU実践						4単位以上	
		キャリアデザイン		キャリアマネジメント	各2						
				キャリアカウンセリング					2		
						(外) ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
		海外研修							2		
		資格取得	(別記1)						各1		
			(別記2)						各2		
			(別記3)						各4		
		(特)キャリア特講(基礎)	2	(特)キャリア特講(発展)	2	(特)キャリア特講(職業)	2				
		(特)グローバルコミュニケーション(基礎)	1	(特)グローバルコミュニケーション(発展)	1						
	社会・企業研究	災害ボランティアⅠ・Ⅱ							各1		
				日本通運寄付講座 ダイレクトマーケティング実践講座		野村證券寄付講座 業界研究特別講座		全国通運連盟寄付講座	各2		
				インターンシップ基礎		インターンシップ			各2		
		インターンシップ(海外)							2		
	学科選定	法とキャリア（入門） 法とキャリア(初級)Ⅰ・Ⅱ	各2	法務・行政実習 法とキャリア(中級・私法1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・私法2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合3)Ⅰ・Ⅱ	各2	法とキャリア(上級)Ⅰ・Ⅱ			各2		
	進路支援	キャリア基礎（数理）		キャリア基礎（言語）	各1						
		キャリア発展（数理）		キャリア発展（言語）	各1						
						職業選択論			2		
						就職準備講座			1		
	教養基礎科目 言葉や思想に関する領域	哲学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の思想		論理学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ		教育学Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ	各2	24単位以上	
	社会や健康に関する領域	社会学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 外国文化論(西欧)Ⅰ・Ⅱ		経済学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在		人文地理学Ⅰ・Ⅱ 日本文化論Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情		健康科学論Ⅰ・Ⅱ 外国文化論(アジア)Ⅰ・Ⅱ			
	自然や環境に関する領域	数学Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ		地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ		生態学Ⅰ・Ⅱ 自然地理学Ⅰ・Ⅱ		自然環境論Ⅰ・Ⅱ			
	歴史や文学に関する領域	文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(西洋史)		文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(東洋史) 美術史Ⅰ・Ⅱ			
	専門基礎科目	自治行政入門	2	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ スポーツと法（公法）		行政法(行政作用法)Ⅰ・Ⅱ 民法(債権総論) 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 日本政治論Ⅰ・Ⅱ 地方自治論Ⅰ・Ⅱ スポーツと法（行政）		法と文化(日本)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(韓国)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(中国)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(欧米)Ⅰ・Ⅱ コミュニティ政策論	各2	36単位以上	
						民法（契約法） 行政法（行政救済法）Ⅰ・Ⅱ 地方自治法 スポーツと法(事故・人権)		民法（不法行為法） 公共政策Ⅰ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ スポーツと法（契約）	各2		

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要
選択科目	専門発展科目			刑法（各論）Ⅰ・Ⅱ 社会保障法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ 現代の政治思想 法学特殊講義Ⅰ・Ⅱ		刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ 観光と法		民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 国際法Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法 防災政策論Ⅰ・Ⅱ	各2	左記科目の中から84単位以上を履修しなければならない。
						労働法Ⅰ・Ⅱ 商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 商法（総則・商行為法） 商法（手形・小切手法） 物流関係法 知的財産法 環境政策 法とコミュニケーション(英語)Ⅰ・Ⅱ		消費者法Ⅰ・Ⅱ 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ 商法（保険法） 国際ビジネス法Ⅰ・Ⅱ 金融取引法 環境と法 警察・消防法特殊講義Ⅰ・Ⅱ	各2	
	学部共通科目 経済学（注2）	統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ	各2	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 財政学Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ 情報経済論Ⅰ・Ⅱ		マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ 地域経済論Ⅰ・Ⅱ		社会保障論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ 公共経済学Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ	各2	
	学部共通科目 経営学（注3）	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	会計学Ⅰ・Ⅱ 流通論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス論Ⅰ・Ⅱ 事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 流通政策論Ⅰ・Ⅱ		管理会計論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーファイナンス 財務会計論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論		監査論Ⅰ・Ⅱ 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ ネットワーク経営論 国際小売論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ	各2	
	学部共通科目 社会学（注4）	社会調査法 社会調査実践法	各2	家族社会学Ⅰ・Ⅱ 地域社会学 地域空間論 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 産業社会学 国際社会学 グローバル化と文化 公的扶助論		介護福祉論 経済社会学 開発社会学 余暇社会学 観光心理学 文化人類学 児童・家庭福祉論 福祉行財政と福祉計画論		社会心理学 対人関係論 防災社会論 障害者福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 老人福祉論	各2	
	学部共通科目 流通情報学（注5）	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ		流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 通信・ネットワーク概論 情報応用システム論 災害ロジスティクス論		ヒューマンインターフェイス論 エルゴノミクス論 情報科学Ⅰ・Ⅱ	各2	
	学部共通科目 スポーツ健康科学（注6）			スポーツと政治 スポーツ社会学 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防 健康づくりとジョギング		スポーツと国際協力 スポーツと文化 スポーツ心理学 コーチング論		スポーツマネジメント論 スポーツとメディア 発育発達老化の理論・実習 体力トレーニング論	各2	
	教養発展科目	社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ		現代女性論Ⅰ・Ⅱ		メディア論Ⅰ・Ⅱ	各2	
	教養発展科目			歴史学特殊講義(東洋史) 歴史学特殊講義(西洋史)		歴史学特殊講義(日本史)Ⅰ・Ⅱ 英書講読Ⅰ・Ⅱ			各2	
	教養発展科目 外国語	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ			各1	
	教養発展科目 外国語	留学英会話Ⅰ・Ⅱ（注7）							各1	
	教養発展科目 外国語	留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ（注7）							各1	
	教養発展科目 外国語	選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ	各1	
	教養発展科目 外国語			選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語中級Ⅰ・Ⅱ	各1	
	教養発展科目 外国語					選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語上級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ	各1	
	教養発展科目 体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ							各1	
	教職科目	教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論	各2	教育課程論 特別活動論 生徒指導論 教育相談 道徳教育論	各2	視聴覚教育 教育方法学	各2			
卒業に必要な単位										124単位以上

（外）は外国人留学生の科目を示す。
（特）印の科目は特別奨学生の指定科目でそれ以外の学生は受講できません。
（注1）　1学年、2学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、1学年で（外）日本語AⅠ・AⅡ、（外）日本語BⅠ・BⅡ、2学年で（外）日本語CⅠ・CⅡ、（外）日本語DⅠ・DⅡ、（外）日本語EⅠ・EⅡを履修しなければならない。
（注2）　この欄の科目および教養基礎科目の［経済学Ⅰ・Ⅱ］から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
（注3）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。
（注4）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「社会学」を修了した旨の認定を行う。
（注5）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。
（注6）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。
（注7）　外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

	ポイント	認定単位数	資格・検定試験の種類
別記1	10	1単位	漢字検定準2級　秘書技能検定準1級　秘書技能検定1級 簿記検定3級　販売士2級　秘書技能検定2級　話しことば検定3級　話しことば検定2級　日商PC（文書作成）3級　日商PC（データ活用）3級 日商PC（プレゼン資料作成）3級　MOS（スペシャルリストレベル）／MCAS（Word）MOS（スペシャルリストレベル）／MCAS（Excel）ドットコムマスターBASIC
別記2	20	2単位	漢字検定2級　宅地建物取引士　簿記検定1級　販売士1級　簿記検定2級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定1級　福祉住環境ｺｰﾃﾞｨﾈｲﾀｰ2級　日商PC（文書作成）2級　日商PC（データ活用）2級　日商PC（プレゼン資料作成）2級 経済学検定（B/B+ランク）　経済学検定（ミクロ・マクロ）Aランク　ファイナンシャルプランナー3級　ITパスポート　医療事務技能審査試験　ドットコムマスターシングルスター
別記3	40	4単位	社会保険労務士　行政書士　司法書士　公認会計士　税理士（1科目のみ）　通関士　初級システムアドミニストレーター　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者試験　ファイナンシャルプランナー2級　経済学検定（Aランク以上）

法学部ビジネス法学科　入学年度別教育課程表⑨

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
必修科目		1年演習	4	2年演習	4	3年演習	4	4年演習	4	16単位	必修科目30単位を履修しなければならない。
				リベラルアーツ入門	2					2単位	
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位	
		国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ	各2							8単位	
選択必修科目	外国語（注1）	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1						1カ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ (外)日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目 キャリア形成	RKU入門	1	RKU実践					1	4単位以上	
		キャリアデザイン		キャリアマネジメント	各2						
				キャリアカウンセリング					2		
						(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
		海外研修							2		
		資格取得	(別記1)						各1		
			(別記2)						各2		
			(別記3)						各4		
		(特)キャリア特講(基礎)	2	(特)キャリア特講(発展)	2	(特)キャリア特講(職業)	2				
		(特)グローバルコミュニケーション(基礎)	1	(特)グローバルコミュニケーション(発展)	1						
		災害ボランティアⅠ・Ⅱ							各1		
	社会・企業研究			日本通運寄付講座Ⅰ・Ⅱ ダイレクトマーケティング実践講座		野村證券寄付講座 業界研究特別講座		全国通運連盟寄付講座	各2		
				インターンシップ基礎		インターンシップ			各2		
		インターンシップ(海外)							2		
	学科選定	法とキャリア(入門) 法とキャリア(初級)Ⅰ・Ⅱ	各2	法務・行政実習 法とキャリア(中級・私法1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・私法2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合3)Ⅰ・Ⅱ	各2	法とキャリア(上級)Ⅰ・Ⅱ			各2		
	進路支援	キャリア基礎(数理)		キャリア基礎(言語)	各1						
		キャリア発展(数理)		キャリア発展(言語)	各1						
						職業選択論			2		
						就職準備講座			1		
	教養基礎科目 言葉や思想に関する領域	哲学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の思想		論理学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ		教育学Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ	各2	24単位以上	
	社会や健康に関する領域	社会学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 外国文化論(西欧)Ⅰ・Ⅱ		経済学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在		人文地理学Ⅰ・Ⅱ 日本文化論Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情		健康科学論Ⅰ・Ⅱ 外国文化論(アジア)Ⅰ・Ⅱ			
	自然や環境に関する領域	数学Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ		地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ		生態学Ⅰ・Ⅱ 自然地理学Ⅰ・Ⅱ		自然環境論Ⅰ・Ⅱ			
	歴史や文学に関する領域	文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(西洋史)		文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(東洋史) 美術史Ⅰ・Ⅱ			
	専門基礎科目	ビジネス法入門	2	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法(家族法)Ⅰ・Ⅱ 刑法(総論)Ⅰ・Ⅱ 行政法(行政作用法)Ⅰ・Ⅱ スポーツと法(公法)		民法(物権) 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 刑法(各論)Ⅰ・Ⅱ 刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ スポーツと法(行政)		民法(債権総論) 法と文化(日本)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(韓国)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(中国)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(欧米)Ⅰ・Ⅱ	各2	36単位以上	
						民法(契約法) 商法(会社法)Ⅰ・Ⅱ 商法(総則・商行為法) 行政法(行政救済法)Ⅰ・Ⅱ スポーツと法(事故・人権)		民法(不法行為法) 国際ビジネス法Ⅰ・Ⅱ 消費者法Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ スポーツと法(契約)			

			1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要
選択科目	専門発展科目				経済法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ 観光と法 法学特殊講義(公法)Ⅰ・Ⅱ		社会保障法Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ 日本政治論Ⅰ・Ⅱ 地方自治論Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法 法学特殊講義(私法)Ⅰ・Ⅱ		国際法Ⅰ・Ⅱ 外国法Ⅰ・Ⅱ 現代の政治思想 コミュニティ政策論 防災政策論Ⅰ・Ⅱ		左記科目の中から84単位以上を履修しなければならない。(注2)
							商法(手形・小切手法) 企業会計法Ⅰ・Ⅱ 物流関係法 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ 地方自治法 環境と法 公共政策Ⅰ・Ⅱ 法とコミュニケーション(英語)Ⅰ・Ⅱ	各2	商法(保険法) 金融取引法 知的財産法 環境政策 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 現代社会と法Ⅰ・Ⅱ 警察・消防法特殊講義Ⅰ・Ⅱ	各2	
	学部共通科目	経済学(注2)	統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ	各2	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 財政学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ		国際経済論Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ 社会保障論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ		産業組織論Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ 情報経済論Ⅰ・Ⅱ 公共経済学Ⅰ・Ⅱ 地域経済論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		経営学(注3)	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	会計学Ⅰ・Ⅱ 流通論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス論Ⅰ・Ⅱ 事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 流通政策論Ⅰ・Ⅱ		管理会計論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーファイナンス 財務会計論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論		監査論Ⅰ・Ⅱ 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ ネットワーク経営論 国際小売論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		社会学(注4)	社会調査法 社会調査実践法	各2	家族社会学Ⅰ・Ⅱ 地域社会学 地域空間論 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 産業社会学 国際社会学 グローバル化と文化 公的扶助論		介護福祉論 経済社会学 開発社会学 余暇社会学 観光心理学 文化人類学 児童・家庭福祉論 福祉行財政と福祉計画論		社会心理学 対人関係論 防災社会論 障害者福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 老人福祉論	各2	
		流通情報学(注5)	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ		流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 通信・ネットワーク概論 情報応用システム論 災害ロジスティクス論		ヒューマンインターフェイス論 エルゴノミクス論 情報科学Ⅰ・Ⅱ	各2	
		スポーツ健康科学(注6)			スポーツと政治 スポーツマネジメント論 スポーツとメディア スポーツ心理学 コーチング論		スポーツと国際協力 スポーツ社会学 発育発達老化の理論・実習 体力トレーニング論		スポーツと文化 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防 健康づくりとジョギング	各2	
	教養発展科目		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ		現代女性論Ⅰ・Ⅱ		メディア論Ⅰ・Ⅱ	各2	
					歴史学特殊講義(東洋史) 歴史学特殊講義(西洋史)		歴史学特殊講義(日本史)Ⅰ・Ⅱ 英書講読Ⅰ・Ⅱ				
		外国語	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ			各1	
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ(注7) 留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ(注7)							各1	
			選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ	各1	
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語中級Ⅰ・Ⅱ		
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語上級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ							各1	
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論	各2	教育課程論 特別活動論 生徒指導論 教育相談 道徳教育論	各2	視聴覚教育 教育方法学	各2			
卒業に必要な単位											124単位以上

(外) は外国人留学生の科目を示す。
(特) 印の科目は特別奨学生の指定科目でそれ以外の学生は受講できません。
(注1) 1学年、2学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、1学年で (外) 日本語AⅠ・AⅡ、(外) 日本語BⅠ・BⅡ、2学年で (外) 日本語CⅠ・CⅡ、(外) 日本語DⅠ・DⅡ、(外) 日本語EⅠ・EⅡを履修しなければならない。
(注2) この欄の科目および教養基礎科目の［経済学Ⅰ・Ⅱ］から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
(注3) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。
(注4) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「社会学」を修了した旨の認定を行う。
(注5) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。
(注6) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。
(注7) 外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

	ポイント	認定単位数	資格・検定試験の種類
別記1	10	1単位	漢字検定準2級　秘書技能検定準1級　秘書技能検定1級 簿記検定3級　アクセス検定国内3級　アクセス検定国際3級　販売士2級　秘書技能検定2級　話しことば検定3級　話しことば検定2級　日商PC(文書作成)3級　日商PC(データ活用)3級 日商PC(プレゼン資料作成)3級　MOS(スペシャルリストレベル)／MCAS(Word) MOS（スペシャルリストレベル）／MCAS（Excel）　ドットコムマスターBASIC
別記2	20	2単位	漢字検定2級　宅地建物取引士　簿記検定1級　販売士1級　簿記検定2級　アクセス検定国内2級　アクセス検定国際2級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定1級　福祉住環境コーディネーター2級　日商PC（文書作成）2級　日商PC（データ活用）2級　日商PC（プレゼン資料作成）2級経済学検定（B/B+ランク）　経済学検定（ミクロ・マクロ）Aランク　ファイナンシャルプランナー3級　ITパスポート　医療事務技能審査試験　ドットコムマスターシングルスター
別記3	40	4単位	社会保険労務士　行政書士　司法書士　公認会計士　税理士（1科目のみ）　通関士　初級システムアドミニストレーター　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者試験　ファイナンシャルプランナー2級　経済学検定（Aランク以上）

法学部自治行政学科　入学年度別教育課程表 ⑪

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
必修科目		1年演習	4	2年演習	4	3年演習	4	4年演習	4	16単位	必修科目30単位を履修しなければならない。
				リベラルアーツ入門					2	2単位	
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位	
		国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ	各2							8単位	
選択必修科目	外国語（注1）	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1						1カ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。	
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ (外)日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目 キャリア形成	RKU入門	1	RKU実践						4単位以上	
		キャリアデザイン		キャリアマネジメント	各2						
				キャリアカウンセリング					2		
						(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
		海外研修							2		
		資格取得	(別記1)						各1		
			(別記2)						各2		
			(別記3)						各4		
		(特)キャリア特講(基礎)	2	(特)キャリア特講(発展)	2	(特)キャリア特講(職業)	2				
		(特)グローバルコミュニケーション(基礎)	1	(特)グローバルコミュニケーション(発展)	1						
	社会・企業研究	災害ボランティアⅠ・Ⅱ							各1		
				日本通運寄付講座Ⅰ・Ⅱ ダイレクトマーケティング実践講座		野村證券寄付講座 業界研究特別講座		全国通運連盟寄付講座	各2		
				インターンシップ基礎		インターンシップ			各2		
		インターンシップ(海外)							2		
	学科選定	法とキャリア（入門） 法とキャリア(初級)Ⅰ・Ⅱ	各2	法務・行政実習 法とキャリア(中級・私法1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・私法2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合3)Ⅰ・Ⅱ	各2	法とキャリア(上級)Ⅰ・Ⅱ			各2		
	進路支援	キャリア基礎（数理）		キャリア基礎（言語）	各1						
		キャリア発展（数理）		キャリア発展（言語）	各1						
						職業選択論			2		
						就職準備講座			1		
	教養基礎科目 言葉や思想に関する領域	哲学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ （外）日本の思想		論理学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ		教育学Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ	各2	24単位以上	
	社会や健康に関する領域	社会学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 外国文化論(西欧)Ⅰ・Ⅱ		経済学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ （外）日本の現在		人文地理学Ⅰ・Ⅱ 日本文化論Ⅰ・Ⅱ （外）日本事情		健康科学論Ⅰ・Ⅱ 外国文化論(アジア)Ⅰ・Ⅱ			
	自然や環境に関する領域	数学Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ		地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ		生態学Ⅰ・Ⅱ 自然地理学Ⅰ・Ⅱ		自然環境論Ⅰ・Ⅱ			
	歴史や文学に関する領域	文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(西洋史)		文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(東洋史) 美術史Ⅰ・Ⅱ			
	専門基礎科目	自治行政入門	2	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ スポーツと法（公法）		行政法(行政作用法)Ⅰ・Ⅱ 民法(債権総論) 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 日本政治論Ⅰ・Ⅱ 地方自治論Ⅰ・Ⅱ スポーツと法（行政）		法と文化(日本)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(韓国)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(中国)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(欧米)Ⅰ・Ⅱ コミュニティ政策論	各2	36単位以上	
						民法（契約法） 行政法（行政救済法）Ⅰ・Ⅱ 地方自治法 スポーツと法(事故・人権)		民法（不法行為法） 公共政策Ⅰ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ スポーツと法（契約）	各2		

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要
選択科目	専門発展科目			刑法（各論）Ⅰ・Ⅱ 社会保障法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ 現代の政治思想 法学特殊講義(公法)Ⅰ・Ⅱ		刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ 観光と法 法学特殊講義(私法)Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ 商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 商法(総則・商行為法) 商法(手形・小切手法) 物流関係法 知的財産法 環境政策 法とコミュニケーション(英語)Ⅰ・Ⅱ 警察・消防法特殊講義Ⅰ・Ⅱ		民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 国際法Ⅰ・Ⅱ 外国法Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法 防災政策論Ⅰ・Ⅱ 消費者法Ⅰ・Ⅱ 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ 企業会計法Ⅰ・Ⅱ 商法（保険法） 国際ビジネス法Ⅰ・Ⅱ 金融取引法 環境と法 現代社会と法Ⅰ・Ⅱ	各2	左記科目の中から84単位以上を履修しなければならない。
	学部共通科目 経済学（注2）	統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ	各2	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 財政学Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ 情報経済論Ⅰ・Ⅱ		マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ 地域経済論Ⅰ・Ⅱ		社会保障論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ 公共経済学Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ	各2	
	学部共通科目 経営学（注3）	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	会計学Ⅰ・Ⅱ 流通論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス論Ⅰ・Ⅱ 事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 流通政策論Ⅰ・Ⅱ		管理会計論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーファイナンス 財務会計論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論		監査論Ⅰ・Ⅱ 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ ネットワーク経営論 国際小売論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ	各2	
	学部共通科目 社会学（注4）	社会調査法 社会調査実践法	各2	家族社会学Ⅰ・Ⅱ 地域社会学 地域空間論 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 産業社会学 国際社会学 グローバル化と文化 公的扶助論		介護福祉論 経済社会学 開発社会学 余暇社会学 観光心理学 文化人類学 児童・家庭福祉論 福祉行財政と福祉計画論		社会心理学 対人関係論 防災社会論 障害者福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 老人福祉論	各2	
	学部共通科目 流通情報学（注5）	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ		流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 通信・ネットワーク概論 情報応用システム論 災害ロジスティクス論		ヒューマンインターフェイス論 エルゴノミクス論 情報科学Ⅰ・Ⅱ	各2	
	学部共通科目 スポーツ健康科学（注6）			スポーツと政治 スポーツ社会学 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防 健康づくりとジョギング		スポーツと国際協力 スポーツと文化 スポーツ心理学 コーチング論		スポーツマネジメント論 スポーツとメディア 発育発達老化の理論・実習 体力トレーニング論	各2	
	教養発展科目	社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ		現代女性論Ⅰ・Ⅱ		メディア論Ⅰ・Ⅱ	各2	
	教養発展科目			歴史学特殊講義(東洋史) 歴史学特殊講義(西洋史)		歴史学特殊講義(日本史)Ⅰ・Ⅱ 英書講読Ⅰ・Ⅱ			各2	
	教養発展科目 外国語	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ			各1	
	教養発展科目 外国語	留学英会話Ⅰ・Ⅱ(注7)							各1	
	教養発展科目 外国語	留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ(注7)							各1	
	教養発展科目 外国語	選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ	各1	
	教養発展科目 外国語			選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語中級Ⅰ・Ⅱ	各1	
	教養発展科目 外国語					選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語上級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ	各1	
	教養発展科目 体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ							各1	
	教職科目	教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論	各2	教育課程論 特別活動論 生徒指導論 教育相談 道徳教育論	各2	視聴覚教育 教育方法学	2 2			
卒業に必要な単位										124単位以上

(外) は外国人留学生の科目を示す。
(特) 印の科目は特別奨学生の指定科目でそれ以外の学生は受講できません。
(注1) 1学年、2学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、1学年で（外）日本語AⅠ・AⅡ、(外) 日本語BⅠ・BⅡ、2学年で（外）日本語CⅠ・CⅡ、(外) 日本語DⅠ・DⅡ、(外) 日本語EⅠ・EⅡを履修しなければならない。
(注2) この欄の科目および教養基礎科目の［経済学Ⅰ・Ⅱ］から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
(注3) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。
(注4) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「社会学」を修了した旨の認定を行う。
(注5) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。
(注6) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。
(注7) 外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

	ポイント	認定単位数	資格・検定試験の種類
別記1	10	1単位	漢字検定準2級　秘書技能検定準1級　秘書技能検定1級 簿記検定3級　アクセス検定国内3級　アクセス検定国際3級　販売士2級　秘書技能検定2級　話しことば検定3級　話しことば検定2級　日商PC（文書作成）3級　日商PC（データ活用）3級 日商PC（プレゼン資料作成）3級　MOS（スペシャルリストレベル）／MCAS（Word）　MOS（スペシャルリストレベル）／MCAS（Excel）　ドットコムマスターBASIC
別記2	20	2単位	漢字検定2級　宅地建物取引士（旧名称：宅地建物取引主任者）　簿記検定1級　販売士1級　簿記検定2級　アクセス検定国内2級　アクセス検定国際2級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定1級　福祉住環境ｺｰﾃﾞｨﾈｲﾀｰ2級　日商PC（文書作成）2級　日商PC（データ活用）2級　日商PC（プレゼン資料作成）2級 経済学検定（B/B+ランク）　経済学検定（ミクロ・マクロ）Aランク　ファイナンシャルプランナー3級　ITパスポート　医療事務技能審査試験　ドットコムマスターシングルスター
別記3	40	4単位	社会保険労務士　行政書士　司法書士　公認会計士　税理士（1科目のみ）　通関士　初級システムアドミニストレーター　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者試験　ファイナンシャルプランナー2級　経済学検定（Aランク以上）

法学部ビジネス法学科　入学年度別教育課程表⑬

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
必修科目		1年演習	4	2年演習	4	3年演習	4	4年演習	4	16単位	必修科目30単位を履修しなければならない。
				リベラルアーツ入門	2					2単位	
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位	
		国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ	各2							8単位	
選択必修科目	外国語（注1）	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1						1カ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ (外)日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目 キャリア形成	RKU入門	1	RKU実践					1	4単位以上	
		キャリアデザイン		キャリアマネジメント	各2						
				キャリアカウンセリング					2		
						(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
		海外研修							2		
		資格取得	(別記1)						各1		
			(別記2)						各2		
			(別記3)						各4		
		(特)キャリア特講(基礎)	2	(特)キャリア特講(発展)	2	(特)キャリア特講(職業)	2				
		(特)グローバルコミュニケーション(基礎)	1	(特)グローバルコミュニケーション(発展)	1						
		災害ボランティアⅠ・Ⅱ							各1		
	社会・企業研究			日本通運寄付講座Ⅰ・Ⅱ 茨城県経営者協会寄付講座		野村證券寄付講座 ダイレクトマーケティング実践講座 (旧名称：日本通信販売協会寄付講座)		全国通運連盟寄付講座 業界研究特別講座	各2		
				インターンシップ基礎		インターンシップ			各2		
		インターンシップ(海外)							2		
	学科選定	法とキャリア(入門) 法とキャリア(初級)Ⅰ・Ⅱ	各2	法務・行政実習 法とキャリア(中級・私法1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・私法2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合3)Ⅰ・Ⅱ	各2	法とキャリア(上級)Ⅰ・Ⅱ			各2		
	進路支援	キャリア基礎(数理)		キャリア基礎(言語)	各1						
		キャリア発展(数理)		キャリア発展(言語)	各1						
						職業選択論			2		
						就職準備講座			1		
	教養基礎科目 言葉や思想に関する領域	哲学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の思想		論理学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ		教育学Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ	各2	24単位以上	
	社会や健康に関する領域	社会学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 外国文化論(西欧)Ⅰ・Ⅱ		経済学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在		人文地理学Ⅰ・Ⅱ 日本文化論Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情		健康科学論Ⅰ・Ⅱ 外国文化論(アジア)Ⅰ・Ⅱ			
	自然や環境に関する領域	数学Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ		地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ		生態学Ⅰ・Ⅱ 自然地理学Ⅰ・Ⅱ		自然環境論Ⅰ・Ⅱ			
	歴史や文学に関する領域	文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(西洋史)		文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(東洋史) 美術史Ⅰ・Ⅱ			
	専門基礎科目	ビジネス法入門	2	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法(家族法)Ⅰ・Ⅱ 刑法(総論)Ⅰ・Ⅱ 行政法(行政作用法)Ⅰ・Ⅱ スポーツと法(公法)		民法(物権) 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 刑法(各論)Ⅰ・Ⅱ 刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ スポーツと法(行政)		民法(債権総論) 法と文化(日本)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(韓国)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(中国)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(欧米)Ⅰ・Ⅱ	各2	36単位以上	
						民法(契約法) 商法(会社法)Ⅰ・Ⅱ 商法(総則・商行為法) 行政法(行政救済法)Ⅰ・Ⅱ スポーツと法(事故・人権)		民法(不法行為法) 国際ビジネス法Ⅰ・Ⅱ 消費者法Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ スポーツと法(契約)			

			1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要
選択科目	専門発展科目				経済法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ 観光と法 法学特殊講義(公法)Ⅰ・Ⅱ		社会保障法Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ 日本政治論Ⅰ・Ⅱ 地方自治論Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法 法学特殊講義(私法)Ⅰ・Ⅱ		国際法Ⅰ・Ⅱ 外国法Ⅰ・Ⅱ 現代の政治思想 コミュニティ政策論 防災政策論Ⅰ・Ⅱ		左記科目の中から84単位以上を履修しなければならない。(注2)
							商法(手形・小切手法) 企業会計法Ⅰ・Ⅱ 物流関係法 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ 地方自治法 環境と法 公共政策Ⅰ・Ⅱ 法とコミュニケーション(英語)Ⅰ・Ⅱ		商法(保険法) 金融取引法 知的財産法 租税法Ⅰ・Ⅱ 環境政策 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 現代社会と法Ⅰ・Ⅱ 警察・消防法特殊講義Ⅰ・Ⅱ	各2	
	学部共通科目	経済学(注2)	統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ	各2	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 財政学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ		国際経済論Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ 社会保障論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ		産業組織論Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ 情報経済論Ⅰ・Ⅱ 公共経済学Ⅰ・Ⅱ 地域経済論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		経営学(注3)	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	会計学Ⅰ・Ⅱ 流通論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス論Ⅰ・Ⅱ 事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 流通政策論Ⅰ・Ⅱ		管理会計論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーファイナンス 財務会計論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論		監査論Ⅰ・Ⅱ 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ ネットワーク経営論 国際小売論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		社会学(注4)	社会調査法 社会調査実践法	各2	家族社会学Ⅰ・Ⅱ 地域社会学 地域空間論 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 産業社会学 国際社会学 グローバル化と文化 公的扶助論		介護福祉論 経済社会学 開発社会学 余暇社会学 観光心理学 文化人類学 児童・家庭福祉論 福祉行財政と福祉計画論		社会心理学 対人関係論 防災社会論 障害者福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 老人福祉論	各2	
		流通情報学(注5)	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ		流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 通信・ネットワーク概論 情報応用システム論 災害ロジスティクス論		ヒューマンインターフェイス論 エルゴノミクス論 情報科学Ⅰ・Ⅱ	各2	
		スポーツ健康科学(注6)			スポーツと政治 スポーツマネジメント論 スポーツとメディア スポーツ心理学 コーチング論		スポーツと国際協力 スポーツ社会学 発育発達老化の理論・実習 体力トレーニング論		スポーツと文化 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防 健康づくりとジョギング	各2	
教養発展科目			社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ		現代女性論Ⅰ・Ⅱ		メディア論Ⅰ・Ⅱ	各2	
					歴史学特殊講義(東洋史) 歴史学特殊講義(西洋史)		歴史学特殊講義(日本史)Ⅰ・Ⅱ 英書講読Ⅰ・Ⅱ				
		外国語	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ			各1	
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ(注7) 留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ(注7)							各1	
			選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ	各1	
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語中級Ⅰ・Ⅱ		
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語上級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ							各1	
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論 道徳教育論	各2	教育課程論 特別活動論 生徒指導論 教育相談	各2	視聴覚教育 教育方法学	各2			
卒業に必要な単位											124単位以上

(外) は外国人留学生の科目を示す。
(特) 印の科目は特別奨学生の指定科目でそれ以外の学生は受講できません。
(注1) 1学年、2学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、1学年で (外) 日本語AⅠ・AⅡ、(外) 日本語BⅠ・BⅡ、2学年で (外) 日本語CⅠ・CⅡ、(外) 日本語DⅠ・DⅡ、(外) 日本語EⅠ・EⅡを履修しなければならない。
(注2) この欄の科目および教養基礎科目の［経済学Ⅰ・Ⅱ］から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
(注3) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。
(注4) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「社会学」を修了した旨の認定を行う。
(注5) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。
(注6) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。
(注7) 外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

	ポイント	認定単位数	資格・検定試験の種類
別記1	10	1単位	漢字検定準2級　秘書技能検定準1級　秘書技能検定1級 簿記検定3級　アクセス検定国内3級　アクセス検定国際3級　販売士2級　秘書技能検定2級　話しことば検定3級　話しことば検定2級　日商PC(文書作成)3級　日商PC(データ活用)3級 日商PC(プレゼン資料作成)3級　MOS(スペシャルリストレベル)／MCAS(Word)　MOS（スペシャルリストレベル)／MCAS（Excel）　ドットコムマスターBASIC
別記2	20	2単位	漢字検定2級　宅地建物取引士（旧名称：宅地建物取引主任者）　簿記検定1級　販売士1級　簿記検定2級　アクセス検定国内2級　アクセス検定国際2級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定1級　福祉住環境コーディネイター2級　日商PC（文書作成）2級　日商PC（データ活用）2級　日商PC（プレゼン資料作成）2級経済学検定（B/B+ランク）　経済学検定（ミクロ・マクロ）Aランク　ファイナンシャルプランナー3級　ITパスポート　医療事務技能審査試験　ドットコムマスターシングルスター
別記3	40	4単位	社会保険労務士 行政書士　司法書士　公認会計士　税理士(1科目のみ)　通関士　初級システムアドミニストレーター　アクセス検定国内準1級　アクセス検定国内1級　アクセス検定国際準1級　アクセス検定国際1級　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者　ファイナンシャルプランナー2級　経済学検定(Aランク以上)

法学部自治行政学科　入学年度別教育課程表 ⑮

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
必修科目		1年演習	4	2年演習	4	3年演習	4	4年演習	4	16単位	必修科目30単位を履修しなければならない。
				リベラルアーツ入門					2	2単位	
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位	
		国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ	各2							8単位	
選択必修科目	外国語（注1）	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1						1カ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ (外)日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目 キャリア形成	RKU入門	1	RKU実践						4単位以上	
		キャリアデザイン		キャリアマネジメント	各2						
				キャリアカウンセリング					2		
						(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
		海外研修							2		
		資格取得	(別記1)						各1		
			(別記2)						各2		
			(別記3)						各4		
		(特)キャリア特講(基礎)	2	(特)キャリア特講(発展)	2	(特)キャリア特講(職業)	2				
		(特)グローバルコミュニケーション(基礎)	1	(特)グローバルコミュニケーション(発展)	1						
	社会・企業研究	災害ボランティアⅠ・Ⅱ							各1		
				日本通運寄付講座Ⅰ・Ⅱ 茨城県経営者協会寄付講座		野村證券寄付講座 ダイレクトマーケティング実践講座 (旧名称：日本通信販売協会寄付講座)		全国通運連盟寄付講座 業界研究特別講座	各2		
				インターンシップ基礎		インターンシップ			各2		
		インターンシップ(海外)							2		
	学科選定	法とキャリア（入門） 法とキャリア(初級)Ⅰ・Ⅱ	各2	法務・行政実習 法とキャリア(中級・私法1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・私法2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合2)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合3)Ⅰ・Ⅱ	各2	法とキャリア(上級)Ⅰ・Ⅱ			各2		
	進路支援	キャリア基礎（数理）		キャリア基礎（言語）	各1						
		キャリア発展（数理）		キャリア発展（言語）	各1						
						職業選択論			2		
						就職準備講座			1		
	教養基礎科目 言葉や思想に関する領域	哲学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ （外）日本の思想		論理学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ		教育学Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ	各2	24単位以上	
	社会や健康に関する領域	社会学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 外国文化論(西欧)Ⅰ・Ⅱ		経済学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ （外）日本の現在		人文地理学Ⅰ・Ⅱ 日本文化論Ⅰ・Ⅱ （外）日本事情		健康科学論Ⅰ・Ⅱ 外国文化論(アジア)Ⅰ・Ⅱ			
	自然や環境に関する領域	数学Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ		地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ		生態学Ⅰ・Ⅱ 自然地理学Ⅰ・Ⅱ		自然環境論Ⅰ・Ⅱ			
	歴史や文学に関する領域	文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(西洋史)		文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(東洋史) 美術史Ⅰ・Ⅱ			
	専門基礎科目	自治行政入門	2	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ スポーツと法（公法）		行政法(行政作用法)Ⅰ・Ⅱ 民法（債権総論） 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 日本政治論Ⅰ・Ⅱ 地方自治論Ⅰ・Ⅱ スポーツと法（行政）		法と文化(日本)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(韓国)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(中国)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(欧米)Ⅰ・Ⅱ コミュニティ政策論	各2	36単位以上	
						民法（契約法） 行政法（行政救済法）Ⅰ・Ⅱ 地方自治法 スポーツと法(事故・人権)		民法（不法行為法） 公共政策Ⅰ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ スポーツと法（契約）	各2		

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要
選択科目	専門発展科目			刑法（各論）Ⅰ・Ⅱ 社会保障法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ 現代の政治思想 法学特殊講義(公法)Ⅰ・Ⅱ		刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ 観光と法 法学特殊講義(私法)Ⅰ・Ⅱ		民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 国際法Ⅰ・Ⅱ 外国法Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法 防災政策論Ⅰ・Ⅱ	各2	左記科目の中から84単位以上を履修しなければならない。
						租税法Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ 商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 商法（総則・商行為法） 商法（手形・小切手法） 物流関係法 知的財産法 環境政策 法とコミュニケーション(英語)Ⅰ・Ⅱ		消費者法Ⅰ・Ⅱ 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ 企業会計法Ⅰ・Ⅱ 商法（保険法） 国際ビジネス法Ⅰ・Ⅱ 金融取引法 環境と法 現代社会と法Ⅰ・Ⅱ 警察・消防法特殊講義Ⅰ・Ⅱ		
	学部共通科目 経済学（注2）	統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ	各2	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 財政学Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ 情報経済論Ⅰ・Ⅱ		マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ 地域経済論Ⅰ・Ⅱ		社会保障論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ 公共経済学Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ	各2	
	学部共通科目 経営学（注3）	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	会計学Ⅰ・Ⅱ 流通論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス論Ⅰ・Ⅱ 事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 流通政策論Ⅰ・Ⅱ		管理会計論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーファイナンス 財務会計論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論		監査論Ⅰ・Ⅱ 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ ネットワーク経営論 国際小売論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ	各2	
	学部共通科目 社会学（注4）	社会調査法 社会調査実践法	各2	家族社会学Ⅰ・Ⅱ 地域社会学 地域空間論 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 産業社会学 国際社会学 グローバル化と文化 公的扶助論		介護福祉論 経済社会学 開発社会学 余暇社会学 観光心理学 文化人類学 児童・家庭福祉論 福祉行財政と福祉計画論		社会心理学 対人関係論 防災社会論 障害者福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 老人福祉論	各2	
	学部共通科目 流通情報学（注5）	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ		流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 通信・ネットワーク概論 情報応用システム論 災害ロジスティクス論		ヒューマンインターフェイス論 エルゴノミクス論 情報科学Ⅰ・Ⅱ	各2	
	学部共通科目 スポーツ健康科学（注6）			スポーツと政治 スポーツ社会学 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防 健康づくりとジョギング		スポーツと国際協力 スポーツと文化 スポーツ心理学 コーチング論		スポーツマネジメント論 スポーツとメディア 発育発達老化の理論・実習 体力トレーニング論	各2	
	教養発展科目	社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ		現代女性論Ⅰ・Ⅱ		メディア論Ⅰ・Ⅱ	各2	
	教養発展科目			歴史学特殊講義(東洋史) 歴史学特殊講義(西洋史)		歴史学特殊講義(日本史)Ⅰ・Ⅱ 英書講読Ⅰ・Ⅱ			各2	
	教養発展科目 外国語	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ			各1	
	教養発展科目 外国語	留学英会話Ⅰ・Ⅱ(注7)							各1	
	教養発展科目 外国語	留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ(注7)							各1	
	教養発展科目 外国語	選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ	各1	
	教養発展科目 外国語			選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語中級Ⅰ・Ⅱ	各1	
	教養発展科目 外国語					選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語上級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ	各1	
	教養発展科目 体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ							各1	
	教職科目	教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論 道徳教育論	各2	教育課程論 特別活動論 生徒指導論 教育相談	各2	視聴覚教育 教育方法学	2 2			
卒業に必要な単位										124単位以上

(外) は外国人留学生の科目を示す。
(特) 印の科目は特別奨学生の指定科目でそれ以外の学生は受講できません。
(注1) 1学年、2学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、1学年で（外）日本語AⅠ・AⅡ、(外) 日本語BⅠ・BⅡ、2学年で（外）日本語CⅠ・CⅡ、(外) 日本語DⅠ・DⅡ、(外) 日本語EⅠ・EⅡを履修しなければならない。
(注2) この欄の科目および教養基礎科目の［経済学Ⅰ・Ⅱ］から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
(注3) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。
(注4) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「社会学」を修了した旨の認定を行う。
(注5) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。
(注6) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。
(注7) 外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

	ポイント	認定単位数	資格・検定試験の種類
別記1	10	1単位	漢字検定準2級　秘書技能検定準1級　秘書技能検定1級 簿記検定3級　アクセス検定国内3級　アクセス検定国際3級　販売士2級　秘書技能検定2級　話しことば検定3級　話しことば検定2級　日商PC（文書作成）3級　日商PC（データ活用）3級 日商PC（プレゼン資料作成）3級　MOS（スペシャルリストレベル）／MCAS（Word）　MOS（スペシャルリストレベル）／MCAS（Excel）　ドットコムマスターBASIC
別記2	20	2単位	漢字検定2級　宅地建物取引士（旧名称：宅地建物取引主任者）　簿記検定1級　販売士1級　簿記検定2級　アクセス検定国内2級　アクセス検定国際2級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定1級　福祉住環境ｺｰﾃﾞｨﾈｲﾀｰ2級　日商PC（文書作成）2級　日商PC（データ活用）2級　日商PC（プレゼン資料作成）2級 経済学検定（B/B+ランク）　経済学検定（ミクロ・マクロ）Aランク　ファィナンシャルプランナー3級　ITパスポート　医療事務技能審査試験　ドットコムマスターシングルスター
別記3	40	4単位	社会保険労務士 行政書士　司法書士　公認会計士　税理士(1科目のみ)　通関士　初級システムアドミニストレーター　アクセス検定国内準1級　アクセス検定国内1級　アクセス検定国際準1級　アクセス検定国際1級　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者　ファイナンシャルプランナー2級　経済学検定(Aランク以上)

2010～2012年度入学生 法学部ビジネス法学科　入学年度別教育課程表⑰

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
必修科目		1年基礎演習	4	2年基礎演習	4	3年専門演習	4	4年専門演習	4	16単位	必修科目30単位を履修しなければならない。
		教養諸学入門	2							2単位	
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位	
		国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ	各2							8単位	
選択必修科目	外国語（注1）	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮（韓国）語AⅠ・AⅡ 朝鮮（韓国）語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1						1カ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。
		（外）日本語AⅠ・AⅡ （外）日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外) 日本語CⅠ・CⅡ (外) 日本語DⅠ・DⅡ (外) 日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目	RKU入門	1	キャリアカウンセリング	2					4単位以上	
		キャリアデザイン		キャリアマネジメント	各2	職業選択論			2		
		法とキャリア（入門） 法とキャリア（初級）Ⅰ・Ⅱ	各2	法務・行政実習 法とキャリア(中級・私法)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合2)Ⅰ・Ⅱ	各2	法とキャリア(上級)Ⅰ・Ⅱ			各2		
		災害ボランティアⅠ・Ⅱ		日本通運寄付講座Ⅰ・Ⅱ 茨城県経営者協会寄付講座 全国通運連盟寄付講座 業界研究特別講座 ﾀﾞｲﾚｸﾄﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ実践講座 (旧名称：日本通信販売協会寄付講座)	2	野村證券寄付講座			各2		
				インターシップ基礎		インターンシップ(注8)			各2		
		海外研修			2	(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
		キャリア基礎Ⅰ・Ⅱ	各1	キャリア基礎(実践講座)Ⅰ・Ⅱ	各1	インターンシップ(注9)			4		
						インターンシップ(海外)			2		
						就職準備講座			1		
		資格関連科目（資格一般）（別記1）							各1		
		資格関連科目（資格基礎）（別記2）							各2		
		資格関連科目（資格専門）（別記3）							各4		
	教養基礎科目	哲学Ⅰ・Ⅱ 教育学Ⅰ・Ⅱ 生態学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ 美術史Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ （外）日本事情		論理学Ⅰ・Ⅱ 数学Ⅰ・Ⅱ 自然環境論Ⅰ・Ⅱ 文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ 心と身体Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 情報環境論Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ 文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門（東洋史） 人文地理学Ⅰ・Ⅱ 健康科学論Ⅰ・Ⅱ （外）日本の現在		社会学Ⅰ・Ⅱ 地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門（西洋史） 自然地理学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 （外）日本の思想	各2	24単位以上	
	専門基礎科目	刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ	各2	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（契約法） 国際ビジネス法Ⅰ・Ⅱ 刑法（各論）Ⅰ・Ⅱ 行政法（行政作用法）Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ 法と文化(アジア)Ⅰ・Ⅱ		民法（物権） 民法（不法行為法） 商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 行政法（行政救済法）Ⅰ・Ⅱ 消費者法Ⅰ・Ⅱ 法と文化(欧米)Ⅰ・Ⅱ		民法（債権総論） 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 商法（総則・商行為法） 刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ スポーツと法(事故・人権) スポーツと法（契約）	各2	36単位以上	
選択科目	専門発展科目			商法（手形・小切手法） 経済法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ 社会保障法Ⅰ・Ⅱ 租税法Ⅰ・Ⅱ 観光と法 政治学Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ 行政管理論Ⅰ・Ⅱ 環境と法 法学特殊講義(基礎法)Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義(私法1)Ⅰ・Ⅱ		商法（保険法） 金融取引法 法社会学Ⅰ・Ⅱ 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ 地方自治法 まちづくりと法 政治外交史Ⅰ・Ⅱ 地方自治論Ⅰ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 環境政策 法学特殊講義(公法1)Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義(私法2)Ⅰ・Ⅱ		企業会計法Ⅰ・Ⅱ 物流関係法Ⅰ・Ⅱ 国際法Ⅰ・Ⅱ 知的財産法 外国法Ⅰ・Ⅱ 地域社会論 政治思想史 都市政策論Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義(公法2)Ⅰ・Ⅱ 現代社会と法Ⅰ・Ⅱ	各2		

			1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要
選択科目	学部共通科目	経済学（注2）	経済学概論Ⅰ・Ⅱ 統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ	各2	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 財政学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ		西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ		社会保障論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ	各2	左記科目の中から84単位以上を履修しなければならない。
		経営学（注3）	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 流通概論Ⅰ・Ⅱ 会計学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 流通史Ⅰ・Ⅱ マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 流通政策論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論 財務会計論Ⅰ・Ⅱ	各2	経営史Ⅰ・Ⅱ Eコマース論 ベンチャービジネス論 ネットワーク経営論 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ 管理会計論Ⅰ・Ⅱ 企業論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス概論 ベンチャーキャピタル論 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 監査論Ⅰ・Ⅱ			各2	
		社会学（注4）	社会学概論	2	家族社会学Ⅰ・Ⅱ 地域社会学Ⅰ・Ⅱ 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 産業社会学 国際社会学 アジア社会と観光 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 児童・家庭福祉論 介護福祉論		経済社会学 開発社会学 余暇社会学 観光心理学 文化人類学 グローバル化と文化 老人福祉論 公的扶助論 福祉行財政と福祉計画論		社会調査法 社会調査実践法 社会心理学 対人関係論 防災社会論 障害者福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		流通情報学（注5）	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ 物流ターミナル論Ⅰ・Ⅱ		流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 通信・ネットワーク概論 情報応用システム論 ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ		ヒューマンインターフェイス論 エルゴノミクス論 情報科学Ⅰ・Ⅱ 災害ロジスティクス論	各2	
		スポーツ健康科学（注6）			スポーツと政治 スポーツマネジメント論 スポーツとメディア スポーツ心理学 コーチング論		スポーツと国際関係 スポーツ社会学 発育発達老化の理論・実習 トレーニング論		スポーツと文化 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防 健康づくりとジョギング	各2	
	教養発展科目		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 現代女性論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ メディア論Ⅰ・Ⅱ		日本文化論Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		外国文化論Ⅰ・Ⅱ	各2	
					歴史学特殊講義（東洋史） 歴史学特殊講義（西洋史）		歴史学特殊講義（日本史）Ⅰ・Ⅱ 英書講読Ⅰ・Ⅱ				
							総合教養講座Ⅰ・Ⅱ				
		外国語	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ			各1	
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ（注7）							各1	
			留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ（注7）							各1	
			選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ	各1	
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語中級Ⅰ・Ⅱ		
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語上級Ⅰ・Ⅱ		
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ							各1	
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論 道徳教育の研究	各2	教育課程論 特別活動の研究 生徒指導の研究 教育相談	各2	視聴覚教育 教育方法学	2 2			
卒業に必要な単位											124単位以上

（外）は外国人留学生の科目を示す。
（注1）　1学年、2学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、1学年で（外）日本語AⅠ・AⅡ、（外）日本語BⅠ・BⅡ、2学年で（外）日本語CⅠ・CⅡ、（外）日本語DⅠ・DⅡ、（外）日本語EⅠ・EⅡを履修しなければならない。
（注2）　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
（注3）　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。
（注4）　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「社会学」を修了した旨の認定を行う。
（注5）　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。
（注6）　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。
（注7）　外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。
（注8）　2012年度入学生に適用する。
（注9）　2010年度、2011年度入学生に適用する。

別記1	漢字検定準2級　秘書技能検定準1級　秘書技能検定1級　簿記検定3級　アクセス検定国内3級　アクセス検定国際3級　販売士2級　秘書技能検定2級　話しことば検定3級 話しことば検定2級　日商PC（文書作成）3級　日商PC（データ活用）3級　日商PC（プレゼン資料作成）3級　MOS（スペシャリストレベル）/MCAS（Word）　MOS（スペシャリストレベル）/MCAS（Excel）　ドットコムマスター BASIC
別記2	漢字検定2級　宅地建物取引士（旧名称：宅地建物取引主任者）　簿記検定1級　簿記検定2級　販売士1級　アクセス検定国内2級　アクセス検定国際2級　国内旅行業務取扱管理者 話しことば検定1級　福祉住環境コーディネイター 2級　日商PC（文書作成）2級　日商PC（データ活用）2級　日商PC（プレゼン資料作成）2級　経済学検定（B/B+ランク）　経済学検定（ミクロ・マクロ）Aランク　ファイナンシャルプランナー 3級　ITパスポート　医療事務技能審査　ドットコムマスターシングルスター
別記3	社会保険労務士 行政書士　司法書士　公認会計士　税理士（1科目のみ）　通関士　初級システムアドミニストレーター　アクセス検定国内準1級　アクセス検定国内1級 アクセス検定国際準1級　アクセス検定国際1級　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者　ファイナンシャルプランナー 2級　経済学検定（Aランク以上）

2010～2012年度入学生　法学部自治行政学科　入学年度別教育課程表 ⑲

		1学年		2学年		3学年		4学年		摘　要	
		授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数		
必修科目		1年基礎演習	4	2年基礎演習	4	3年専門演習	4	4年専門演習	4	16単位	必修科目30単位を履修しなければならない。
		教養諸学入門	2							2単位	
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位	
		国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ	各2							8単位	
選択必修科目	外国語（注1）	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ ポルトガル語ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ ポルトガル語ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1						1カ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。
		(外) 日本語AⅠ・AⅡ (外) 日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外) 日本語CⅠ・CⅡ (外) 日本語DⅠ・DⅡ (外) 日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目	RKU入門	1	キャリアカウンセリング	2					4単位以上	
		キャリアデザイン		キャリアマネジメント	各2	職業選択論			2		
		法とキャリア（入門） 法とキャリア(初級)Ⅰ・Ⅱ	各2	法務・行政実習 法とキャリア(中級・私法)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（総合1）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（総合2）Ⅰ・Ⅱ	各2	法とキャリア(上級)Ⅰ・Ⅱ			各2		
				日本通運寄付講座Ⅰ・Ⅱ 茨城県経営者協会寄付講座 全国通運連盟寄付講座 業界研究特別講座 ﾀﾞｲﾚｸﾄﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ実践講座 (旧名称：日本通信販売協会寄付講座)	2	野村證券寄付講座			2		
				インターンシップ基礎		インターンシップ(注8)			各2		
		海外研修			2	(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
		キャリア基礎Ⅰ・Ⅱ	各1	キャリア基礎(実践講座)Ⅰ・Ⅱ	各1	インターンシップ(注9)			4		
						インターンシップ(海外)			2		
						就職準備講座			1		
		資格関連科目(資格一般)(別記1)		災害ボランティアⅠ・Ⅱ					各1		
		資格関連科目(資格基礎)(別記2)							各2		
		資格関連科目(資格専門)(別記3)							各4		
	教養基礎科目	哲学Ⅰ・Ⅱ 教育学Ⅰ・Ⅱ 生態学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ 美術史Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情		論理学Ⅰ・Ⅱ 数学Ⅰ・Ⅱ 自然環境論Ⅰ・Ⅱ 文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ 心と身体Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 情報環境論Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ 文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門（東洋史） 人文地理学Ⅰ・Ⅱ 健康科学論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在		社会学Ⅰ・Ⅱ 地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門（西洋史） 自然地理学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 (外)日本の思想	各2	24単位以上	
	専門基礎科目	政治学Ⅰ・Ⅱ 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ	各2	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（契約法） 行政法(行政作用法)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(アジア)Ⅰ・Ⅱ 日本政治論Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ スポーツと法(事故・人権)		民法（物権） 民法(不法行為法) 行政法(行政救済法)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(欧米)Ⅰ・Ⅱ 地域社会論 地方自治論Ⅰ・Ⅱ スポーツと法（契約）		民法（債権総論） 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 地方自治法 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 都市政策論Ⅰ・Ⅱ	各2	36単位以上	
選択科目	専門発展科目			行政管理論Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ 国際ビジネス法Ⅰ・Ⅱ 商法(手形・小切手法) 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ 国際法Ⅰ・Ⅱ 観光と法 法学特殊講義(基礎法)Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義(私法1)Ⅰ・Ⅱ		政治外交史Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ 商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 商法（保険法） 刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 消費者法Ⅰ・Ⅱ 社会保障法Ⅰ・Ⅱ 外国法Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法 法学特殊講義(公法1)Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義(私法2)Ⅰ・Ⅱ		政治思想史 刑法（各論）Ⅰ・Ⅱ 商法（総則・商行為法） 金融取引法 租税法Ⅰ・Ⅱ 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ 環境と法 環境政策 法学特殊講義(公法2)Ⅰ・Ⅱ 現代社会と法Ⅰ・Ⅱ	各2		
	学部共通科目 経済学（注2）	経済学概論Ⅰ・Ⅱ 統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ	各2	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 財政学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ		西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ		社会保障論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ	各2		

			1学年		2学年		3学年		4学年		摘　要	
			授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数		
選択科目	学部共通科目	経営学（注3）	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 流通概論Ⅰ・Ⅱ 会計学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 流通史Ⅰ・Ⅱ マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 流通政策論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論 財務会計論Ⅰ・Ⅱ	各2	経営史Ⅰ・Ⅱ Eコマース論 ベンチャービジネス論 ネットワーク経営論 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ 管理会計論Ⅰ・Ⅱ 企業論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス概論 ベンチャーキャピタル論 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 監査論Ⅰ・Ⅱ			各2		左記科目の中から84単位以上を履修しなければならない。
		社会学（注4）	社会学概論	各2	家族社会学Ⅰ・Ⅱ 地域社会学Ⅰ・Ⅱ 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 産業社会学 国際社会学 アジア社会と観光 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 児童・家庭福祉論 介護福祉論		経済社会学 開発社会学 余暇社会学 観光心理学 文化人類学 グローバル化と文化 老人福祉論 公的扶助論 福祉行財政と福祉計画論		社会調査法 社会調査実践法 社会心理学 対人関係論 防災社会論 障害者福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ		各2		
		流通情報学（注5）	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ 物流ターミナル論Ⅰ・Ⅱ		流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 通信・ネットワーク概論 情報応用システム論 ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ		ヒューマンインターフェイス論 エルゴノミクス論 情報科学Ⅰ・Ⅱ 災害ロジスティクス論		各2		
		スポーツ健康科学（注6）			スポーツと政治 スポーツマネジメント論 スポーツとメディア スポーツ心理学 コーチング論		スポーツと国際関係 スポーツ社会学 発育発達老化の理論・実習 トレーニング論		スポーツと文化 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防 健康づくりとジョギング		各2		
	教養発展科目		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 現代女性論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ メディア論Ⅰ・Ⅱ		日本文化論Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		外国文化論Ⅰ・Ⅱ		各2	
					歴史学特殊講義（東洋史） 歴史学特殊講義（西洋史）		歴史学特殊講義（日本史）Ⅰ・Ⅱ 英書講読Ⅰ・Ⅱ					
							総合教養講座Ⅰ・Ⅱ					
		外国語	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ				各1	
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ（注7）								各1	
			留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ（注7）								各1	
			選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ		各1	
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語中級Ⅰ・Ⅱ			
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語上級Ⅰ・Ⅱ			
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ								各1	
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論 道徳教育の研究	各2	教育課程論 特別活動の研究 生徒指導の研究 教育相談	各2	視聴覚教育 教育方法学	2 2				
卒業に必要な単位												124単位以上

（外）は外国人留学生の科目を示す。

（注1）　1学年、2学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、1学年で（外）日本語AⅠ・AⅡ、（外）日本語BⅠ・BⅡ、2学年で（外）日本語CⅠ・CⅡ、（外）日本語DⅠ・DⅡ、（外）日本語EⅠ・EⅡを履修しなければならない。

（注2）　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。

（注3）　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。

（注4）　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「社会学」を修了した旨の認定を行う。

（注5）　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。

（注6）　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。

（注7）　外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

別記1	漢字検定準2級　秘書技能検定準1級　秘書技能検定1級　簿記検定3級　アクセス検定国内3級　アクセス検定国際3級　販売士2級　秘書技能検定2級　話しことば検定3級 話しことば検定2級　日商PC（文書作成）3級　日商PC（データ活用）3級　日商PC（プレゼン資料作成）3級　MOS（スペシャリストレベル）/MCAS（Word）　MOS（スペシャリストレベル）/MCAS（Excel） ドットコムマスター BASIC
別記2	漢字検定2級　宅地建物取引士（旧名称：宅地建物取引主任者）　簿記検定1級　簿記検定2級　販売士1級　アクセス検定国内2級　アクセス検定国際2級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定1級　福祉住環境コーディネイター 2級　日商PC（文書作成）2級　日商PC（データ活用）2級　日商PC（プレゼン資料作成）2級　経済学検定（B/B+ランク）　経済学検定（ミクロ・マクロ）Aランク　ファイナンシャルプランナー 3級　ITパスポート　医療事務技能審査　ドットコムマスターシングルスター
別記3	社会保険労務士　行政書士　司法書士　公認会計士　税理士（1科目のみ）　通関士　初級システムアドミニストレーター　アクセス検定国内準1級　アクセス検定国内1級 アクセス検定国際準1級　アクセス検定国際1級　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者　ファイナンシャルプランナー 2級　経済学検定（Aランク以上）

2009年度入学生法学部ビジネス法学科　入学年度別教育課程表

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
必修科目		1年基礎演習	4	2年基礎演習	4	3年専門演習	4	4年専門演習	4	16単位	必修科目30単位を履修しなければならない。
		教養諸学入門	2							2単位	
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位	
		国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ	各2							8単位	
選択必修科目	外国語（注1）	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1					1カ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。	
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ (外)日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目	RKU入門	1							4単位以上	
		キャリアデザイン キャリアマネジメント	各2	キャリアカウンセリング	2	職業選択論			2		
		法とキャリア（入門） 法とキャリア(初級)Ⅰ・Ⅱ	各2	法務・行政実習 法とキャリア(中級・私法)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合2)Ⅰ・Ⅱ	各2	法とキャリア(上級)Ⅰ・Ⅱ			各2		
				茨城県経営者協会寄付講座	2	日本通運寄付講座Ⅰ・Ⅱ 全国通運連盟寄付講座　野村證券寄付講座			各2		
		海外研修			2	(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
		キャリア基礎Ⅰ・Ⅱ	各1	キャリア基礎(実践講座)Ⅰ・Ⅱ	各1	インターンシップ			4		
						インターンシップ(海外)			2		
						就職準備講座			1		
		資格関連科目(資格一般)(別記1)		災害ボランティアⅠ・Ⅱ					各1		
		資格関連科目(資格基礎)(別記2)							各2		
		資格関連科目(資格専門)(別記3)							各4		
	教養基礎科目	哲学Ⅰ・Ⅱ 教育学Ⅰ・Ⅱ 生態学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ 美術史Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情		論理学Ⅰ・Ⅱ 数学Ⅰ・Ⅱ 自然環境論Ⅰ・Ⅱ 文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ 心と身体Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 情報環境論Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ 文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門（東洋史） 人文地理学Ⅰ・Ⅱ 健康科学論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在		社会学Ⅰ・Ⅱ 地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門（西洋史） 自然地理学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 (外)日本の思想	各2	24単位以上	
	専門基礎科目	刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ	各2	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（契約法） 国際ビジネス法Ⅰ・Ⅱ 刑法（各論）Ⅰ・Ⅱ 行政法（行政作用法）Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ 法と文化(アジア)Ⅰ・Ⅱ		民法（物権） 民法(不法行為法) 商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 行政法(行政救済法)Ⅰ・Ⅱ 消費者法Ⅰ・Ⅱ 法と文化(欧米)Ⅰ・Ⅱ		民法（債権総論） 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 商法(総則・商行為法) 刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ スポーツと法Ⅰ・Ⅱ	各2	36単位以上	
選択科目	専門発展科目			商法(手形・小切手法) 経済法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ 社会保障法Ⅰ・Ⅱ 租税法Ⅰ・Ⅱ 観光と法 政治学Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ 行政管理論Ⅰ・Ⅱ 環境と法 法学特殊講義(基礎法)Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義(私法1)Ⅰ・Ⅱ		商法（保険法） 金融取引法 法社会学Ⅰ・Ⅱ 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ 地方自治法 まちづくりと法 政治外交史Ⅰ・Ⅱ 地方自治論Ⅰ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 環境政策 法学特殊講義(公法1)Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義(私法2)Ⅰ・Ⅱ		企業会計法Ⅰ・Ⅱ 物流関係法Ⅰ・Ⅱ 国際法Ⅰ・Ⅱ 知的財産法 外国法Ⅰ・Ⅱ 地域社会論 政治思想史 都市政策論Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義(公法2)Ⅰ・Ⅱ 現代社会と法Ⅰ・Ⅱ	各2		
	学部共通科目　経済学（注2）	経済学概論Ⅰ・Ⅱ 統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ	各2	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 財政学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ		西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ		社会保障論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ	各2		

			1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要
選択科目	学部共通科目	経営学(注3)	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 流通概論Ⅰ・Ⅱ 会計学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 流通史Ⅰ・Ⅱ マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 流通政策論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論 財務会計論Ⅰ・Ⅱ	各2	経営史Ⅰ・Ⅱ Eコマース論 ベンチャービジネス論 ネットワーク経営論 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ 管理会計論Ⅰ・Ⅱ 企業論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス概論 ベンチャーキャピタル論 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 監査論Ⅰ・Ⅱ			各2	左記科目の中から84単位以上を履修しなければならない。
		社会学(注4)	社会学概論	2	家族社会学Ⅰ・Ⅱ 地域社会学Ⅰ・Ⅱ 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 産業社会学 国際社会学 アジア社会と観光 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 児童・家庭福祉論 介護福祉論		経済社会学 開発社会学 余暇社会学 観光心理学 文化人類学 グローバル化と文化 老人福祉論 公的扶助論 福祉行財政と福祉計画論		社会調査法 社会調査実践法 社会心理学 対人関係論 防災社会論 障害者福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ		各2	
		流通情報学(注5)	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ 物流ターミナル論Ⅰ・Ⅱ		流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 通信・ネットワーク概論 情報応用システム論 ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ		ヒューマンインターフェイス論 エルゴノミクス論 情報科学Ⅰ・Ⅱ 災害ロジスティクス論		各2	
		スポーツ健康科学(注6)			スポーツ文化論 コーチ学 スポーツトレーニング論 発育・発達論		スポーツと栄養Ⅰ スポーツジェンダー論(スポーツと女性) スポーツ外傷・障害と予防 スポーツ心理学 スポーツマネジメント論		健康づくりとジョギング スポーツメディア論 スポーツジャーナリズム論 スポーツ産業論 スポーツと余暇		各2	
	教養発展科目		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 現代女性論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ メディア論Ⅰ・Ⅱ		日本文化論Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		外国文化論Ⅰ・Ⅱ		各2
					歴史学特殊講義(東洋史) 歴史学特殊講義(西洋史)		歴史学特殊講義(日本史)Ⅰ・Ⅱ 英書講読Ⅰ・Ⅱ				
							総合教養講座Ⅰ・Ⅱ				
		外国語	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ				各1
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ(注7)								各1
			留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ(注7)								各1
			選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ		各1
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語中級Ⅰ・Ⅱ		
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語上級Ⅰ・Ⅱ		
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ								各1
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論 道徳教育の研究	各2	教育課程論 特別活動の研究 生徒指導の研究 教育相談	各2	視聴覚教育 教育方法学	2 2			
卒業に必要な単位											124単位以上

(外)は外国人留学生の科目を示す。

(注1) 1学年、2学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、1学年で(外)日本語AⅠ・AⅡ、(外)日本語BⅠ・BⅡ、2学年で(外)日本語CⅠ・CⅡ、(外)日本語DⅠ・DⅡ、(外)日本語EⅠ・EⅡを履修しなければならない。

(注2) この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。

(注3) この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。

(注4) この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「社会学」を修了した旨の認定を行う。

(注5) この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。

(注6) この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。

(注7) 外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

別記1	漢字検定準2級　秘書技能検定準1級　秘書技能検定1級　簿記検定3級　アクセス検定国内3級　アクセス検定国際3級　販売士2級　秘書技能検定2級　話しことば検定3級 話しことば検定2級　日商PC(文書作成)3級　日商PC(データ活用)3級　日商PC(プレゼン資料作成)3級　MOS(スペシャリストレベル)/MCAS(Word)　MOS(スペシャリストレベル)/MCAS(Excel)　ドットコムマスター BASIC
別記2	漢字検定2級　宅地建物取引士(旧名称:宅地建物取引主任者)　簿記検定1級　簿記検定2級　販売士1　アクセス検定国内2級　アクセス検定国際2級　国内旅行業務取扱管理者 話しことば検定1級　福祉住環境コーディネイター 2級　日商PC(文書作成)2級　日商PC(データ活用)2級　日商PC(プレゼン資料作成)2級　経済学検定(B/B+ランク)　経済学検定(ミクロ・マクロ)Aランク　ファイナンシャルプランナー 3級　ITパスポート　医療事務技能審査　ドットコムマスターシングルスター
別記3	社会保険労務士 行政書士　司法書士　公認会計士　税理士(1科目のみ)　通関士　初級システムアドミニストレーター　アクセス検定国内準1級　アクセス検定国内1級 アクセス検定国際準1級　アクセス検定国際1級　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者　ファイナンシャルプランナー 2級　経済学検定(Aランク以上)

2009年度入学生 法学部自治行政学科　入学年度別教育課程表

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
必修科目		1年基礎演習	4	2年基礎演習	4	3年専門演習	4	4年専門演習	4	16単位	必修科目30単位を履修しなければならない。
		教養諸学入門	2							2単位	
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位	
		国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ	各2							8単位	
選択必修科目	外国語（注1）	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ ポルトガル語ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ ポルトガル語ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1						1カ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ (外)日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目	RKU入門	1							4単位以上	
		キャリアデザイン キャリアマネジメント	各2	キャリアカウンセリング	2	職業選択論			2		
		法とキャリア（入門） 法とキャリア(初級)Ⅰ・Ⅱ	各2	法務・行政実習 法とキャリア(中級・私法)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（総合1）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（総合2）Ⅰ・Ⅱ	各2	法とキャリア(上級)Ⅰ・Ⅱ			各2		
				茨城県経営者協会寄付講座	2	日本通運寄付講座Ⅰ・Ⅱ 全国通運連盟寄付講座　野村證券寄付講座			各2		
		海外研修			2	(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
		キャリア基礎Ⅰ・Ⅱ	各1	キャリア基礎(実践講座)Ⅰ・Ⅱ	各1	インターンシップ			4		
						インターンシップ(海外)			2		
						就職準備講座			1		
		資格関連科目(資格一般)(別記1)		災害ボランティアⅠ・Ⅱ					各1		
		資格関連科目(資格基礎)(別記2)							各2		
		資格関連科目(資格専門)(別記3)							各4		
	教養基礎科目	哲学Ⅰ・Ⅱ 教育学Ⅰ・Ⅱ 生態学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ 美術史Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情		論理学Ⅰ・Ⅱ 数学Ⅰ・Ⅱ 自然環境論Ⅰ・Ⅱ 文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ 心と身体Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 情報環境論Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ 文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門（東洋史） 人文地理学Ⅰ・Ⅱ 健康科学論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在		社会学Ⅰ・Ⅱ 地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門（西洋史） 自然地理学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 (外)日本の思想	各2	24単位以上	
	専門基礎科目	政治学Ⅰ・Ⅱ 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ	各2	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（契約法） 行政法(行政作用法)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(アジア)Ⅰ・Ⅱ 日本政治論Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ		民法（物権） 民法（不法行為法） 行政法(行政救済法)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(欧米)Ⅰ・Ⅱ 地域社会論 地方自治論Ⅰ・Ⅱ		民法（債権総論） 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 地方自治法 スポーツと法Ⅰ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 都市政策論Ⅰ・Ⅱ	各2	36単位以上	
選択科目	専門発展科目			行政管理論Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ 国際ビジネス法Ⅰ・Ⅱ 商法（手形・小切手法） 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ 国際法Ⅰ・Ⅱ 観光と法 法学特殊講義(基礎法)Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義(私法1)Ⅰ・Ⅱ		政治外交史Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ 商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 商法（保険法） 刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 消費者法Ⅰ・Ⅱ 社会保障法Ⅰ・Ⅱ 外国法Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法 法学特殊講義(公法1)Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義(私法2)Ⅰ・Ⅱ		政治思想史 刑法（各論）Ⅰ・Ⅱ 商法（総則・商行為法） 金融取引法 租税法Ⅰ・Ⅱ 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ 環境と法 環境政策 法学特殊講義(公法2)Ⅰ・Ⅱ 現代社会と法Ⅰ・Ⅱ	各2		
	学部共通科目　経済学（注2）	経済学概論Ⅰ・Ⅱ 統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ	各2	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 財政学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ		西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ		社会保障論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ	各2		

			1学年		2学年		3学年		4学年		摘　要	
			授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数		
選択科目	学部共通科目	経営学（注3）	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 流通概論Ⅰ・Ⅱ 会計学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 流通史Ⅰ・Ⅱ マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 流通政策論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論 財務会計論Ⅰ・Ⅱ	各2	経営史Ⅰ・Ⅱ Eコマース論 ベンチャービジネス論 ネットワーク経営論 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ 管理会計論Ⅰ・Ⅱ 企業論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス概論 ベンチャーキャピタル論 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 監査論Ⅰ・Ⅱ			各2		左記科目の中から84単位以上を履修しなければならない。
		社会学（注4）	社会学概論	各2	家族社会学Ⅰ・Ⅱ 地域社会学Ⅰ・Ⅱ 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 産業社会学 国際社会学 アジア社会と観光 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 児童・家庭福祉論 介護福祉論		経済社会学 開発社会学 余暇社会学 観光心理学 文化人類学 グローバル化と文化 老人福祉論 公的扶助論 福祉行財政と福祉計画論		社会調査法 社会調査実践法 社会心理学 対人関係論 防災社会論 障害者福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ		各2		
		流通情報学（注5）	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ 物流ターミナル論Ⅰ・Ⅱ		流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 通信・ネットワーク概論 情報応用システム論 ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ		ヒューマンインターフェイス論 エルゴノミクス論 情報科学Ⅰ・Ⅱ 災害ロジスティクス論		各2		
		スポーツ健康科学（注6）			スポーツ文化論 コーチ学 スポーツトレーニング論 発育・発達論		スポーツと栄養Ⅰ スポーツジェンダー論（スポーツと女性） スポーツ外傷・障害と予防 スポーツ心理学 スポーツマネジメント論		健康づくりとジョギング スポーツメディア論 スポーツジャーナリズム論 スポーツ産業論 スポーツと余暇		各2		
	教養発展科目		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 現代女性論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ メディア論Ⅰ・Ⅱ		日本文化論Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		外国文化論Ⅰ・Ⅱ		各2	
					歴史学特殊講義（東洋史） 歴史学特殊講義（西洋史）		歴史学特殊講義（日本史）Ⅰ・Ⅱ 英書講読Ⅰ・Ⅱ					
							総合教養講座Ⅰ・Ⅱ					
		外国語	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ				各1	
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ（注7）								各1	
			留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ（注7）								各1	
			選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ		各1	
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語中級Ⅰ・Ⅱ			
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語上級Ⅰ・Ⅱ			
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ								各1	
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論 道徳教育の研究	各2	教育課程論 特別活動の研究 生徒指導の研究 教育相談	各2	視聴覚教育 教育方法学	2 2				
卒業に必要な単位												124単位以上

（外）は外国人留学生の科目を示す。
（注1）　1学年、2学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、1学年で（外）日本語AⅠ・AⅡ、（外）日本語BⅠ・BⅡ、2学年で（外）日本語CⅠ・CⅡ、（外）日本語DⅠ・DⅡ、（外）日本語EⅠ・EⅡを履修しなければならない。
（注2）　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
（注3）　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。
（注4）　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「社会学」を修了した旨の認定を行う。
（注5）　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。
（注6）　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。
（注7）　外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

別記1	漢字検定準2級　秘書技能検定準1級　秘書技能検定1級　簿記検定3級　アクセス検定国内3級　アクセス検定国際3級　販売士2級　秘書技能検定2級　話しことば検定3級　話しことば検定2級　日商PC（文書作成）3級　日商PC（データ活用）3級　日商PC（プレゼン資料作成）3級　MOS（スペシャリストレベル）/MCAS（Word）　MOS（スペシャリストレベル）/MCAS（Excel）　ドットコムマスターBASIC
別記2	漢字検定2級　宅地建物取引士（旧名称：宅地建物取引主任者）　簿記検定1級　簿記検定2級　販売士1級　アクセス検定国内2級　アクセス検定国際2級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定1級　福祉住環境コーディネイター2級　日商PC（文書作成）2級　日商PC（データ活用）2級　日商PC（プレゼン資料作成）2級　経済学検定（B/B+ランク）　経済学検定（ミクロ・マクロ）Aランク　ファイナンシャルプランナー3級　ITパスポート　医療事務技能審査　ドットコムマスターシングルスター
別記3	社会保険労務士　行政書士　司法書士　公認会計士　税理士（1科目のみ）　通関士　初級システムアドミニストレーター　アクセス検定国内準1級　アクセス検定国内1級　アクセス検定国際準1級　アクセス検定国際1級　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者　ファイナンシャルプランナー2級　経済学検定（Aランク以上）

科目の追加について

2010 年度から、課程表に次の科目を追加する。

（2009 年度入学生対象）	キャリアマネジメント
	茨城県経営者協会寄付講座
	キャリア基礎Ⅰ・Ⅱ
	（外）ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ

2011 年度から、課程表に次の科目を追加する。

（2009 年度入学生対象）	環境と法
	環境政策
（2009、2010年度入学生対象）	キャリア基礎（実践講座）Ⅰ・Ⅱ
	災害ボランティアⅠ・Ⅱ
	防災社会論
	災害ロジスティクス論

2016 年度から、課程表に次の科目を追加する。

（2013 ～ 2015 年度入学生対象）	防災政策論Ⅰ・Ⅱ
	警察・消防法特殊講義Ⅰ・Ⅱ

履 修 の 手 引

履修の手引

この履修要綱は、基本的に春学期入学の学生を対象としたものです。秋学期入学の学生は、別の資料も参照してください。

1.　セメスター制

本学では、セメスター制を採用しています。セメスター制とは、学年を春学期と秋学期とに分け、基本的にはそれぞれの学期（セメスター）で単位を修得し、卒業にいたる制度です。

2.　単位制

単位制とは、「教育課程表」に記載されている科目を履修し、科目ごとに定められている単位を修得して、原則として4年間のうちに、卒業に必要な単位を修得する制度です。

⑴　単位の計算方法

単位は、講義科目を基本として１単位あたり45時間の学修を必要とする内容で構成されています。２単位の授業科目は、90時間の学修時間が必要という意味です。この内、1/3は授業時間内の学修に、2/3が授業時間外の予習・復習に当てられています。単位数の多い科目は、予習・復習にそれだけ多くの学修時間をかけなければなりません。

⑵　科目の単位数

科目の単位数は、１単位、2単位、4単位のいずれかであり、「教育課程表」および履修要綱に記載されています。

授業は基本的に週１回行われ、その授業形態によって、下記のように単位数が決められています。

1)　演習（ゼミ）：通年の30回の授業で４単位。
2)　外国語科目：各学期（春、秋）15回の授業で１単位。
3)　体育科目・スポーツ実技科目：各学期（春、秋）15回の授業で１単位。
4)　情報科目：各学期（春、秋）15回の授業で２単位。
5)　講義科目：各学期（春、秋）15回の授業で２単位。
6)　実習科目：各学期（春、秋）15回の授業で２単位。

3.　最高履修単位数

年間の最高履修単位数は下表の通りです。

学部／入学年度	経済	社会	流通情報	法	スポーツ健康科学
2010以降	1・2学年　44	3・4学年　49			
2009	1・2学年　44	3・4学年　49			44

・入学生（スポーツ健康科学部は2010年度以降）の各学期の最高履修単位数は、1・2学年は26単位、3・4学年は28単位です。ただし、1・2学年では年間の最高履修単位数は44単位ですので、片方の学期で26単位を履修した場合には、もう片方の学期での最高履修単位数は18単位となります。3・4学年では年間の最高履修単位数は49単位ですので、片方の学期で28単位を履修した場合には、もう片方の学期での最高履修単位数は21単位となります。

・スポーツ健康科学部2009年度の入学生の各学期における最高履修単位数は26単位です。ただし、年間の最高履修単位数は44単位ですので、片方の学期で26単位を履修した場合には、もう片方の学期での最高履修単位数は18単位となります。

4. ３学年進級に必要な単位数

２学年終了時において、１年演習（ゼミ）・２年演習（ゼミ）を含め、40単位に達している場合に３学年への進級を認めます。

・「教育課程表」以外の科目で修得した単位は、３学年進級に必要な単位数には含まれません。

・**２年演習（ゼミ）の単位を修得できなかった場合**でも、**１年演習（ゼミ）の単位を修得した上で、**上記の表で示した単位数を満たしていれば、３学年へ進級できます。ただし、**卒業までに２年演習（ゼミ）の単位を修得しなければなりません。なお、2013年度以降の経営学科入学生は除きます。**

５. 卒業

⑴ 修業年限

４年以上在学し、卒業に必要な所定の単位を修得した学生は、「卒業」となります。卒業に必要な所定の単位が修得できずに４年の在学年数を超えて在籍する学生は、卒業に必要な単位を修得した学年で卒業となりますが、履修登録時に届出をすることにより、卒業に必要な単位を修得した学期で卒業することもできます。なお、卒業に必要な単位を満たした上で４年を超えて在学することはできません。

秋学期入学の学生も、卒業に必要な修業年限・単位は春学期入学の学生と変わりません。

⑵ 学位

卒業した学生には、次の区分に従い「卒業証書・学位記」を授与します。

学部	学科	学位
経済学部	経済学科	学士（経済学）
	経営学科	学士（経営学）
社会学部	社会学科	学士（社会学）
	国際観光学科	学士（社会学）
流通情報学部	流通情報学科	学士（流通情報学）
法学部	ビジネス法学科	学士（法学）
	自治行政学科	学士（法学）
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	学士（スポーツ健康科学）

⑶ 副専攻の認定

副専攻に関する所定の要件を満たした学生には、申請手続をすることで卒業時に「副専攻」を認定します。対象となる学部・学科および入学年度は、次の通りです。

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">学部･学科
入学年度</td><td colspan="2">経済</td><td rowspan="2">社会</td><td rowspan="2">流通情報</td><td rowspan="2">法</td><td rowspan="2">スポーツ健康科学</td></tr>
<tr><td>経済</td><td>経営</td></tr>
<tr><td rowspan="2">認定される副専攻</td><td>2010
以降</td><td rowspan="2">経営学
流通情報学
社会学
法学
スポーツ健康科学</td><td rowspan="2">経済学
流通情報学
社会学
法学
スポーツ健康科学</td><td rowspan="2">経済学
経営学
流通情報学
法学
スポーツ健康科学</td><td rowspan="2">経済学
経営学
社会学
法学
スポーツ健康科学</td><td rowspan="2">経済学
経営学
流通情報学
社会学
スポーツ健康科学</td><td>経済学
経営学
流通情報学
法学
社会学</td></tr>
<tr><td>2009</td><td>経済学
法学
社会・福祉学
観光学</td></tr>
</table>

⑷　卒業発表

卒業発表は、毎年３月および９月に行います。電話・メールなどによる問い合わせには応じられません。

⑸　卒業式

卒業が決定した学生は、卒業式に出席し、学生証と引き換えに「卒業証書・学位記」を受け取ってください。

６．科目の履修

科目の履修に際しては、教室で授業を受けるだけでなく、シラバスや教室での指導に基づいて自主的に予習・復習をしてください。また、指定された参考図書などについても学習してください。

⑴　科目の区分

各学年の学生が履修すべき科目は、「教育課程表」に記載されています。

必 修 科 目：非常に重要度の高い科目であり、指定された学年に必ず履修しなければならない科目です。指定された学年で修得できなかった場合には、原則として次年度に必ず履修しなければなりません。

選択必修科目：必修科目に次いで重要度の高い科目であり、教育課程表の摘要欄に記されている条件を満たすように科目を選択して、履修しなければならない科目です。

選 択 科 目：必ず履修しなければならない科目ではなく、自由に選択して履修することができる科目です。履修すれば卒業単位に算入されます。

自 由 科 目：成績表には記載されますが、卒業単位には算入されない科目です。また、各学年の最高履修単位数にも算入されません。ただし、スポーツ健康科学部の開講科目を他学部から自由科目として履修することはできません。

⑵　履修登録（事前登録）

科目の履修にあたっては、事前に登録をしなければなりません。この登録が完了した時点で、科目の履修が確定し、各自の時間割が決定します。ただし、一部、登録が必要でない科目もあります。

1)　各科目の時間割、担当教員等については、３月に発表します。履修ガイダンスに出席し、各自であらかじめ履修したい科目を決めておき、定められた期間に履修登録を行ってください。

2)　指定された期間に履修登録手続を怠った場合や誤った登録をした場合、その年度の履修は無効となります。

3)　履修登録は、Ring（RKU Interchange for Groups）で行います。

７．単位の修得

1)　履修登録した科目に対してのみ単位の修得が認められます。未登録科目を履修しても単位は与えられません。ただし、別に定めるところにより、単位の修得を認めることがあります（単位の認定）。

2)　登録した科目について、「S・A・B・C」いずれかの成績評価が付与された場合に、当該科目の単位の修得が認められます。「D」（不合格）または「/」（評価不能）が付与された場合には、当該科目の単位の修得は認められません。

3)　単位は、各学期（春・秋）ごとに与えられます。演習などの通年授業科目の単位は、春学期および秋学期の成績を総合して付与されます（片方の学期だけ履修しても単位は与えられません）。

4)　単位を修得できなかった科目については、再履修してください。ただし、必修以外の科目については、別の科目を選択し、履修しても構いません。

5)　一度単位を修得した科目（成績の付与された科目）については、再度履修して単位を取り直すことはできま

せん。

８. 休講と補講

休講の案内は、Ringで行います。休講となった場合には補講が行われます。補講は、原則として、当該授業のある曜日の5時限または土曜日の午前・午後（龍ケ崎キャンパス）、6時限または土曜日の午後（新松戸キャンパス）に行われます。補講の詳細については、Ringに掲載します。

９. 出席調査

授業では出席を調査します。出席調査は、パソコン・スマートフォン・携帯電話、出席カードや提出物等により行います。インターネットやWi-Fiに接続できるパソコン・スマートフォン・携帯電話等を準備してください。

10. 災害時の授業

台風や大雪、あるいは地震などにより大きな災害が発生した場合には、電車やバス等の公共交通機関が運行できなくなる事態が予測されます。その場合には、その都度、授業を実施するか否かを発表しますので、各自以下の方法で確認してください。

1）　Ring　　https://ring.rku.ac.jp/

2）　災害時連絡ダイヤル　　0297-64-0009

11. 試験

⑴　定期試験

1）　定期の試験として、春学期試験と秋学期試験があります。

　　春学期試験　７月下旬～８月上旬（約２週間）

　　秋学期試験　１月下旬～２月初旬（約２週間）

2）　試験時間割と注意事項は、各試験の１週間前までに発表しますので、各自で確認してください。

⑵　試験に関する注意事項

1）　学生証は必ず携帯し、試験監督者が見やすい場所（机の上）に常に置いてください。学生証を提示しない者は受験できません。学生証を忘れた者は、学生生活課（龍ケ崎）・学務課（新松戸）で、一日有効の仮学生証（有料）を発行してもらい受験してください。

2）　遅刻は、試験開始後20分以内に限り認めます。ただし、試験時間は延長しません。

3）　試験場からの退場は、試験開始後30分以内は許可しません。

4）　試験中は、携帯情報端末等（携帯電話・スマートフォン・通信機能付き電子辞書等）の電源を切り、カバン、バッグなどの中に入れておいてください。（時計・辞書の代わりにはできません）

5）　試験場における行動は、すべて試験監督者の指示に従ってください。

6）　試験中（定期試験および定期試験以外）に不正行為があった場合には、「試験規則」第８条により処置します。

　　不正行為とは、次のような行為です。

　　・他の学生の答案を見ること。

　　・他の学生とコミュニケーション（話、目くばせなど）をとること。

　　・カンニング・ペーパーを持ち込み、それらを見ること。

　　・許可されていないコピー、テキストなどを持ち込み、それらを見ること。

・通信機器を用いて外部と連絡をとること。
・あらかじめ机に必要事項を書いておき、それらを見ること。
・本人以外の者が代理で受験をすること。
・他の学生と物品の貸し借りをすること。
・その他、適正な成績評価を妨げる行為を行うこと。

⑶　追試験

定期試験に欠席した場合には、「試験規則」第４条、第５条により、追試験を願い出ることができます。追試験の願い出は、欠席した試験が行われた日から起算して７日以内に行わなければなりませんが、できるだけ早い時期に、必要な公的証明書などを添付して、教務課・学務課に申し出てください。入院等により登校できない場合には、教務課・学務課に電話連絡をして指示を受けてください。

⑷　再試験

再試験は原則として行いません。ただし、卒業該当年次生で、卒業に必要な単位が不足する学生に対して、次の要件をすべて満たす場合に限り、再試験の受験を認めることがあります。

1)　卒業に必要な単位数が不足する場合、その不足科目が４科目以内であること。ただし、５年以上在籍した学生の卒業に必要な単位数が不足する場合には、その不足科目が６科目以内であること。
2)　卒業年次に履修登録が行われている科目であること。
3)　出席不良等の理由で評価不能とされた科目でないこと。
4)　本人の申請があること。

⑸　レポート提出に関する注意事項

担当教員の指示によりレポートを提出するときは、次の事項に注意してください。

1)　指示した期限までに指定場所に提出してください。期限後の提出は無効となります。
2)　特別の指示のない限り、Ａ４版の用紙を使用し、とじてください。表紙には、科目名、担当教員名、課題、学生番号および氏名を黒インクで明記してください。

12. 不正行為

試験、出席調査、提出物、その他の授業の実施に係る行為において不正をしてはいけません。試験中に不正行為があった場合は、「試験規則」第８条により処置します。また、出席調査、提出物、その他の授業の実施に係る行為において不正があった場合は、「試験規則」第８条に準じて処置することがあります。

13. 成績評価

1)　成績は、授業科目ごとに行う試験（筆記試験、論文、レポート、口述試験、実技テスト）およびその他担当教員の指定する方法によって評価されます。
2)　成績は、100点法によって評価され、60点（2012年度以前入学生は50点）以上を合格とし、所定の単位が与えられます。

適用年度	2013年度以降入学生適用			
合格評価	「Ｓ」（90点以上）	「Ａ」（80点～89点）	「Ｂ」（70点～79点）	「Ｃ」（60点～69点）
不合格評価	「Ｄ」（59点以下）	「／」（評価不能）		

適用年度	2012年度以前入学生適用			
合格評価	「Ｓ」（90点以上）	「Ａ」（80点～89点）	「Ｂ」（60点～79点）	「Ｃ」（50点～59点）
不合格評価	「Ｄ」（49点以下）	「／」（評価不能）		

ただし、100点法によらず単位が認定される科目もあります。

単位認定「R」

3)　成績表は各学期終了後に交付します。ただし、通年科目（演習など）はその学年終了後に交付します。

4)　成績表は、各学期終了後に保証人（父母）宛に郵送します。

5)　成績に関して質問のある学生は、「成績確認願」を教務課・学務課に提出し、その成績の確認を求めることができます。

14. ＧＰＡ

本学では、ＧＰＡ（グレード・ポイント・アベレージ：履修科目の成績の平均値）を算出する制度を定めています。ＧＰＡは、学生の学習意欲を高めるとともに、本学が掲げる教育の質の保証についての具体化を進め、適切な修学指導に資することを目的としています。

1)　ＧＰＡの算出方法

ＧＰＡは、ＧＰＡ対象授業科目のうち、履修登録した科目についてそれぞれの単位数にグレードポイント（４、３、２、１、０のいずれか）をかけ、その合計ポイントを単位数の総和で割ったものとなります。

2)　グレードポイント

成績評価に対するグレードポイントは下表の通りです。

評価	2013年度以降入学生	2012年度以前入学生
S	4	3
A	3	3
B	2	2
C	1	1
D	0	0
/	0	0
R	適用除外	適用除外

3)　ＧＰＡ対象授業科目と適用除外科目

適用除外科目を除くすべての授業科目がＧＰＡの対象となります。

以下の科目は適用除外科目です。これらの科目にはグレードポイントが付加されず、修得単位や成績はＧＰＡの計算には使用しません。

１　合格か不合格かだけを判定する授業科目（Ｒ認定）

２　編入学または転入学した際の単位認定科目

３　本学入学前に修得した単位認定科目

４　他大学との単位互換等で修得した科目

4)　ＧＰＡの活用

ＧＰＡは、本学大学院の内部推薦基準、特別奨学生の採用基準、また学修指導や退学勧告の資料として利用されます。

15. 単位の認定

本学では、大学での正規の授業以外に、学生のキャリア開発に関連する諸活動や公的機関による資格・検定試験の合格などに単位を認定する制度を整えています。なお、各検定試験の合格証明書は、申請日から過去３年間のものを有効とします（2013年度入学生から適用）。これらについての履修登録は必要なく、それぞれの認定要件を満たした段階で申請すると、単位が認定されます。認定される単位数は、合計で60単位までです。また、認定された単位数（スポーツトレーニング実技を除く）は、学年別の最高履修単位数には含まれません。

⑴　外国語科目の単位認定

公的な機関による下の表に記した検定試験などで基準点以上の成績を修めた者が、所定の手続きを経て、その合格証（成績表・認定証など）を提出した場合には、外国語科目を履修したものとみなし、その単位を認定します。

認定科目と試験の種類 ＼ 認定単位数			1単位認定	2単位認定	4単位認定	6単位認定	8単位認定
英語	英語検定	日本英語検定協会	準2級	2級	準1級		1級
英語	TOEIC	ETS	400点以上	450点以上	550点以上		700点以上
英語	TOEIC Bridge	ETS	150点以上				
英語	TOEFL	ETS		450点以上	500点以上		550点以上
英語	TOEFL IBT	ETS		45点以上	61点以上		79点以上
中国語	中国語検定	日本中国語検定協会		準4級	4級		3級以上
中国語	漢語水平考試	漢語水平考試委員会		2級以上	4級	5級	6級以上
ドイツ語	ドイツ語技能検定	ドイツ語学文学振興会		4級	3級		2級以上
フランス語	フランス語技能検定	フランス語教育振興協会		4級	3級		2級以上
スペイン語	スペイン語技能検定	日本スペイン協会		6級	5級以上		3級以上
日本語	日本語能力	日本国際教育支援協会	2級、N2	1級、N1			
日本語	J.TEST実用日本語検定	日本語検定協会	600点以上	700点以上			
日本語	日本留学	日本学生支援機構		260点以上			

・TOEICおよびTOEFLの基準点は変更する場合があります。

・TOEICには「一般公開テスト」（SP）と「団体特別受験」（IP）の2種類があります。

＊「一般公開テスト」がいわゆるTOEICで、TOEIC運営委員会とアメリカの公的機関であるETS（Educational Testing Service）により正式な認定証が発行されます。

＊「団体特別受験」は各企業・大学が責任をもって実施する試験で、正式な認定証は発行されません（ただし、TOEIC運営委員会と実施団体による認定証は発行されます）。

＊本学では、「一般公開テスト」「団体特別受験」のどちらのスコアでも単位認定の対象とします。

・選択中国語上級Ⅰ・Ⅱの単位認定の場合は、中国語検定の準4級と漢語水平考試の2級・3級を対象としません。

1)　単位認定は、秋学期定期試験期間終了時までに申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から

春学期定期試験期間終了時までに申請があった場合は春学期に行います。

2) 単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時までに申請してください。

3) 同一の外国語で複数の試験・級に合格した場合は、最上位の試験・級のみが単位認定の対象となります。すでに異なる試験・級・得点により単位認定を受けている場合は、新たに認定を受けられる単位数は、認定済みの単位数を減じた単位数です。

認定を受けられる単位数は、最高で8単位です。

4) 認定される外国語科目は学部により異なりますので、教務課・学務課にて確認してください。

5) 日本語の単位認定を行う場合は、外国語科目の「日本語」各科目のほか、キャリア科目の「（外）ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ」をも認定科目とした上で、当該学生の単位未修得科目の中から、日本語EⅡ、日本語EⅠ、日本語A・B・C・D各Ⅰ・Ⅱ、（外）ビジネス日本語の順序で単位認定を行うものとします。

(2) スポーツトレーニング実技の単位認定（スポーツ健康科学部は除く）

重点部に所属する学生について、課外活動状況により「選択スポーツトレーニング実技」を履修したものとみなし、その単位を認定します。

1) 対象学生は、ラグビーフットボール部、剣道部（男・女）、柔道部、サッカー部、陸上競技部（長距離）、アメリカンフットボール部、硬式野球部に所属する学生（マネージャーは除く）です。

2) 単位認定を希望する学生は、所定の申請書を作成し、所属する部に提出してください。各部で集約した申請書は、体育指導センターを通して、教務課へ提出されます。

3) 単位の認定は、①重点部の活動状況、②部活動への出席状況、③部の練習態度、④部の戦績などをチェックして、体育指導センターが原案を作成し、教授会の議を経て決定します。

4) １学年の春学期に１単位、秋学期に１単位を認定します。１学年で認定されなかった場合には、それ以降の学年で単位認定を申請することができます。

(3) 法学関連科目の単位認定

法学検定およびビジネス実務法務検定試験に合格した学生に、下記の通り単位の認定をします。

認定科目と検定試験の種類 ＼ 認定単位数				４単位認定	６単位認定	８単位認定
(法学部の2008年度~2012年度入学生) スポーツと法　Ⅰ・Ⅱ 法と文化(アジア)　Ⅰ・Ⅱ 法と文化(欧米)　Ⅰ・Ⅱ 現代社会と法　Ⅰ・Ⅱ (経済・社会・流通情報学部の学生) 学部共通科目の法学分野の科目	(法学部の2013年度以降入学生) スポーツと法 法学特殊講義(私法)　Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義(公法)　Ⅰ・Ⅱ 現代社会と法　Ⅰ・Ⅱ 法と文化	法学検定	㈶日弁連法務研究財団 ㈳商事法務研究会	ベーシック ＜基礎＞ コース (旧４級)	スタンダード ＜中級＞ コース (旧３級)	アドバンスト ＜上級＞ コース (旧２級)
		ビジネス実務法務検定	東京商工会議所	３級	２級	１級

1) 単位認定は、秋学期定期試験期間終了時までに申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時までに申請があった場合は春学期に行います。

2)　単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時までに申請してください。

3)　法学部の学生については、上の表に示した科目から認定します。

4)　経済・社会・流通情報学部の学生については、学部共通科目の法学分野の科目から認定します。スポーツ健康科学部の学生のうち、2009年度以前の入学生については、副専攻科目・法学の各科目から、2010年度以降の入学生については、学部共通科目の法学分野の科目から、それぞれ認定します。

5)　同一の検定試験で複数の級に合格した場合には、上位の級のみが単位認定の対象となります。異なる級の合格によりすでに単位認定を受けている場合は、新たに認定を受けられる単位数は、認定済みの単位数を減じた単位数とします。

6)　認定を受けられる最高単位数は、総計8単位とします。

⑷　外国留学

本学の「留学に関する規則」に基づき、外国留学をした学生（外国人留学生を除く）に、留学中の学修内容を審査した上で、教育課程表にある科目の単位認定を行います。

1)　外国留学を希望する学生は、留学２ヶ月前までに「留学願」を学長に提出し、国際交流センターの承認を受けてください。

2)　単位認定を希望する学生は、留学先からの「出席状況および成績に関する証明書」、「修了証」等を添付し、「単位認定願」を学長に提出してください。

3)　単位の認定は、国際交流センターの小委員会が原案を作成し、教授会の議を経て決定します。

4)　留学期間中の「演習」については、担当教員と留学者がインターネット等を利用しながら、相互に緊密な連絡を取り合ってください。担当教員は留学者に対して必要な教育、指導を行い、単位を付与します。演習の単位は認定単位には含めません。

5)　外国留学をした学生には、「海外研修」(2単位) の単位認定も行われます。

⑸　キャリア科目の単位認定

一部のキャリア科目について単位認定を行ないます（スポーツ健康科学部は2010年度以降の入学生）。

1)　単位認定を行う科目には、「ＲＫＵ入門」、「ＲＫＵ実践」、「海外研修」、「インターンシップ（海外）」、「就職準備講座」、資格関連科目である「資格一般」、「資格基礎」、「資格専門」があります。

2)　単位認定の方法、認定単位数などについては、「履修の方法」のキャリア科目の項を参照してください。

16. 他キャンパス受講

原則として週１日に限り、他キャンパスで開講される科目の受講を認めることがあります。他キャンパス受講を希望する学生は、履修登録時に教務課・学務課に申請してください。

17. キャンパス変更（スポーツ健康科学部は除く）

所定の要件を満たした場合に限り、所属するキャンパスの変更を認めることがあります。キャンパス変更を希望する学生は、教務課・学務課に申請してください。なお、2015年度以前入学の留学生は３学年進級時に、所属するキャンパスを選択することができます。

18. 履修の方法[2015年度・2014年度・2013年度の入学生]

ここでは「入学年度別教育課程表」にもとづいて授業科目の履修方法について説明します。「教育課程表」参照しながら、よく読んで下さい。ここではビジネス法学科の履修方法と自治行政学科の履修方法をあわせて説明しますが「教育課程表」は、学科、入学年度によって異なる場合があります。必ず自分の所属する学科、入学年度に適用される課程表を参照してください。また、外国人留学生は、外国人留学生のみを対象とした説明が別にあることもありますから、注意して読んで下さい。

ビジネス法学科・自治行政学科共通

⑴必修科目

必修科目とは、定められた該当学年において必ず履修しなければならない授業科目です。必修科目においては、全部30単位を履修しなければなりません。

1) 演習

(a) 1年演習

1クラスを20名程度で編成し、所属クラスは入学時に指定します。1年演習の未修得者は3学年に進級できません。

(b) 2年演習

1クラスを20名程度で編成します。所属クラスの選択は、1学年の秋学期に行います。各クラスの指導計画を選択申込の前に発表します。それらを熟読の上、自由に選択してください。また相談期間を設けますので、希望するクラスの担当教員に相談することもできます。クラスによっては、希望者が定員を上回ることもあります。その場合には、面接やレポートなどにより、担当教員が履修者を選考することがあります。希望のクラスに入れなかった場合には、2回目の選択申込により、定員に満たないクラスの中から、履修を希望するクラスを再度選択することになります。

(c) 3年演習、4年演習

1クラスを20名程度で編成します。3学年、4学年を通じて、同じ教員のクラスを履修します。所属クラスの選択は、2学年秋学期に行います。クラスの決定方法は、上記の「2年演習」の場合と同様です。3年演習と4年演習は、原則として同一学年で履修することは出来ません。3年演習の単位を修得できなかった場合には、留年となります。

2) 教養コア科目および情報科目

1学年において、「情報基礎Ⅰ・Ⅱ」（各2単位）を履修します。「情報基礎Ⅰ・Ⅱ」は指定されたクラスで履修してください。2学年において、「リベラルアーツ入門」（2単位）を履修します。履修方法については、別途詳細をお知らせします。

3) 専門コア科目

1学年において、「国家と法Ⅰ・Ⅱ」（各2単位）、「市民と法Ⅰ・Ⅱ」（各2単位）を履修しなければなりません。

⑵選択必修科目と選択科目

選択必修科目とは、指定された単位数を特定の授業科目の中から選択して履修する授業科目のことです。これに対して選択科目は、単位数に関する規定はなく、自由に選択して履修できる授業科目のことです。

選択必修科目と選択科目は、外国語科目10単位を別にして、合計は84単位以上を修得しなければなりません（「教育課程表」摘要欄の右の列を参照）。なお摘要欄の左の列に指定された単位数を合計しても64単位であ

り、84単位とはなりませんので注意してください。（「教育課程表」摘要欄の左の列を参照）。その差である20単位は、選択必修科目と選択科目のどちらでも自由に修得してよい単位数ですが、卒業に必要な単位数です。

（ア）選択必修科目

1） 外国語科目

(a) 1学年と2学年において、入学前に選択した一つの外国語を学修します。指定されたクラスで履修してください。

選択できる外国語は、下記の通りです（いずれも各1単位）。

「英語AI・AII、英語BI・BII、英語CI・CII、英語DI・DII、英語EI・EII」

「ドイツ語AI・AII、ドイツ語BI・BII、ドイツCI・CII、ドイツDI・DII、ドイツEI・EII」

「フランス語AI・AII、フランス語BI・BII、フランス語CI・CII、フランス語DI・DII、フランス語EI・EII」

「中国語AI・AII、中国語BI・BII、中国語CI・CII、中国語DI・DII、中国語EI・EII」

「スペイン語AI・AII、スペイン語BI・BII、スペイン語CI・CII、スペイン語DI・DII、スペイン語EI・EII」

「朝鮮（韓国）語AI・AII、朝鮮（韓国）語BI・BII、朝鮮（韓国）語CI・CII、朝鮮（韓国）語DI・DII、朝鮮（韓国）語EI・EII」

「ポルトガル語・ブラジル語AI・AII、ポルトガル語・ブラジル語BI・BII、ポルトガル語・ブラジル語CI・CII、ポルトガル語・ブラジル語DI・DII、ポルトガル語・ブラジル語EI・EII」

各外国語とも、1学年においては、AI・AII、BI・BIIの4科目（各1単位、計4単位）を、2学年においては、CI・CII、DI・DII、EI・EIIの6科目（各1単位、計6単位）を履修します。

(b)外国人留学生は、1学年において「（外）日本語AI・AII」「（外）日本語BI・BII」（各1単位）の4単位、2学年において「（外）日本語CI・CII」「（外）日本語DI・DII」「（外）日本語EI・EII」（各1単位）の6単位をそれぞれ履修します。

2） キャリア科目

キャリア科目から選択して、4単位以上を修得しなければなりません。

(a) ＲＫＵ入門

入学直後に行われる導入教育である「RKU入門」に出席した学生にその単位を認定します。

①単位の認定は、「RKU入門」の中で行われるゼミ、ガイダンスその他各種の講座への出席を前提に、ゼミ担当教員が行います。

②本授業は、すべての学生が履修することを原則とします。

③1学年の春学期に1単位を認定します。

(b) RKU実践

日常のボランティア活動に対して、所定の要件を満たした場合に単位を認定します。

①対象となるボランティア活動は、大学が認める無報酬の活動です。

②「RKU実践届」を学生生活課、学務課に提出してください。

③ボランティア活動の実働3時間を1ポイントとし、合計15ポイントで1単位認定します。ただし、1日2ポイントまでとし、単位認定は在学中1回限りです。

④ボランティア活動参加者は、参加のつど「RKU実践活動報告書」を別途定める証明部門に提出し、「RKU実践活動証明書」を受け取り保管しておきます。

⑤単位認定を希望する場合は、「RKU実践単位申請書」に15ポイント分の「RKU実践活動証明書」を添

えて学務課・教務課へ提出してください。

⑥単位認定は、秋学期定期試験終了時までに申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験終了時までに申請のあった場合は春学期に行います。

(c) 海外研修

「留学に関する規則」に基づき、「海外研修」2単位を認定します。

(d) 資格取得

大学開設の課外講座が対象とする資格・検定試験などに合格した者に単位を認定します。

①資格・検定試験の種類により、10ポイントを1単位として入学年度別教育課程表の「資格・検定試験の種類」にある単位を認定します。

②単位認定は、秋学期定期試験期間終了時までに申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時までに申請があった場合は春学期に行います。

③単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時までに申請してください。

④卒業単位として認められる単位は最大8単位です。

⑤資格取得科目で単位認定される資格のうち法学に関係の深い一部のものについては、下の表の通り、認定する単位数を加算します。4単位分までは資格取得科目による認定単位とし、これを超える部分については、「法学関連科目の単位認定」に関する規定を準用して単位認定を行います。

資格の種類	認定単位（合計）	資格関連科目による認定単位数	法学関連科目の単位認定に準じて認定する単位数
司法書士	12	4	8
行政書士	10	4	6
社会保険労務士	10	4	6
宅地建物取引主任者	8	2	6
通関士	10	4	6

(e) 災害ボランティアⅠ・Ⅱ

東日本大震災などの災害発生に関する災害ボランティア活動の参加者に対して、その活動が所定の要件を満たす場合に単位を認定します。（ただし、社会学科は除きます。）

①災害ボランティア活動が45時間相当の場合は1単位、90時間相当の場合は2単位を認定します。

②単位認定を希望する場合は、事前に学生生活課へ「災害ボランティア活動届」を提出し、活動終了後「災害ボランティア単位認定申請書」に「ボランティア活動日誌」「ボランティア活動証明書」（受け入れ機関・団体の証明）を添えて学務課・教務課へ提出してください。

(f) 就職準備講座

主として3学年を対象に行われているもので、あらかじめ指定した就職支援センター主催の就職支援プログラムへの出席をもって単位を認定します。

①単位の認定は、就職支援センター内「就職委員会」が原案を作成し、教授会の議を経て決定します。

②1学年からの累積出席回数が、2/3を超えた学生が対象となります。

③3学年の秋学期に1単位を認定します。

(g) その他講義科目

3) 教養基礎科目

教養基礎科目から選択して、24単位以上を履修します。

4) 専門基礎科目

ビジネス法学科と自治行政学科の各学科において、すべての学生が履修するのにふさわしい専門科目を配置しました。学修すべき分野が両学科で異なるところがあるため、配置されている科目も両学科で一部異なっています。自由に選択して、36単位以上を履修しなければなりません。

（イ）選択科目

1) 専門発展科目

ここには、各学科の学生が自らのもつ学問的興味や将来の進路希望に応じて履修するのが適当な専門科目が置かれています。配置されている科目は、両学科で一部異なっています。自身に適切な科目を探して積極的に履修してください。

2) 学部共通科目と副専攻

学部共通科目には、所属学部・学科の学問分野（これを主専攻とよびます）とは別の、下記の各学問分野の科目（他の学部・学科の専門基礎・発展科目に当たる科目）が置かれています。主専攻の枠を超えて他の学問分野の科目をも履修することで複数の学問分野を学修することにより、現代社会が求めている複眼的な視野と能力を養い、個性あふれる人材を育成することを目的としています。

学部共通科目の学問分野

・経済学
・経営学
・流通情報学
・社会学
・スポーツ健康科学

学部共通科目は、いくつの学問分野からでも、一分野ごとの履修単位数の上限もなく、自由に履修することができます。

一つの学問分野から20単位以上を修得した場合には、卒業時にその分野の「副専攻」を修了したことの認定をします。 その場合、14単位まで卒業単位に算入することができます。なお、スポーツ健康科学の各科目は、龍ヶ崎キャンパスでのみ開講されます。したがって、新松戸キャンパス所属の学生がこの科目を履修するには「他キャンパス受講」制度によらなければなりません。

3) 教養発展科目・外国語科目・体育科目

教養発展科目、外国語関係の科目と体育の実技科目が用意されています。興味のある学生は積極的に履修してください。

4) 教職科目

教職免許取得に必要な科目であって、教育課程表に組み入れられているものについては、20単位まで卒業単位に必要な単位に算入することができます。

19. 履修の方法【2008年度～2012年度の入学生】

ここでは「入学年度別教育課程表」にもとづいて授業科目の履修方法について説明します。「教育課程表」を参照しながら、よく読んでください。ここではビジネス法学科の履修方法と自治行政学科の履修方法をあわせて説明しますが、「教育課程表」は学科、入学年度によって異なる場合があります。必ず自分の所属する学科、入学年度に適用される課程表を参照してください。また、外国人留学生は、外国人留学生のみを対象とした説明が別にあることもありますから、注意して読んでください。

ビジネス法学科・自治行政学科共通

⑴必修科目

必修科目とは、定められた配当年次において必ず履修しなければならない授業科目です。必修科目においては、全部で３０単位を修得しなければなりません。

1) 演習（ゼミ）（１６単位）

(a) 1年基礎演習（1年ゼミ）（４単位）

1クラスを20名程度で編成し、所属クラスは入学時に指定します。1年ゼミの未修得者は3学年に進級できません。

(b) 2年基礎演習（2年ゼミ）（４単位）

1クラスを20名程度で編成します。所属クラスの選択は、1学年の秋学期に行います。各クラスの指導計画を選択申込の前に発表しますので、それを熟読の上、自由に選択してください。また相談期間を設けますので、希望するクラスの担当教員に相談することもできます。クラスによっては、希望者が定員を上回ることもあります。その場合には、面接やレポートなどにより、担当教員が履修者を選考することがあります。希望するクラスに入れなかった場合には、2回目の選択申込により、定員に満たなかったクラスの中から、履修を希望するクラスを再度選択することになります。

(c) 3年専門演習（3年ゼミ）、4年専門演習（4年ゼミ）（各４単位）

1クラスを20名程度で編成します。3学年、4学年を通じて、同じ教員のクラスを履修します。所属クラスの選択は、2学年の秋学期に行います。クラスの選択方法は、上記の「2年ゼミ」の場合と同様です。3年ゼミと4年ゼミは、原則として同一学年で履修することはできません。3年ゼミの単位を修得できなかった場合には、留年となります。

2) 教養コア科目および情報科目

1学年において、「教養諸学入門」（2単位）、「情報基礎Ⅰ・Ⅱ」（各2単位）を履修しなければなりません。両科目とも指定されたクラスで履修してください。「教養諸学入門」のクラスは、「人文」、「芸術」、「自然」および「歴史」の４分野から指定されます。

3) 専門コア科目

1学年において、「国家と法Ⅰ・Ⅱ」（各2単位）、「市民と法Ⅰ・Ⅱ」（各2単位）を履修しなければなりません。

⑵選択必修科目と選択科目

選択必修科目とは、指定された単位数を特定の授業科目の中から選択して履修する授業科目のことです。これに対して、選択科目は、単位数に関する指定はなく、自由に選択して履修できる授業科目のことです。

選択必修科目と選択科目は、外国語科目１０単位を別にして、合計で８４単位以上を修得しなければなりません（「教育課程表」摘要欄の右の列を参照）。なお、摘要欄の左の列に指定された単位数を合計しても６４単位で

あり、８４単位とはなりませんので注意してください（「教育課程表」摘要欄の左の列を参照）。その差である２０単位は、選択必修科目と選択科目のどちらからでも自由に修得してよい単位数ですが、卒業に必要な単位数です。

（ア）選択必修科目

1）　外国語科目

(a)　1学年と２学年において、入学前に選択した一つの外国語を学修します。指定されたクラスで履修してください。

選択できる外国語科目は、下記の通りです。

「英語ＡⅠ・ＡⅡ、英語ＢⅠ・ＢⅡ、英語ＣⅠ・ＣⅡ、英語ＤⅠ・ＤⅡ、英語ＥⅠ・ＥⅡ」

「ドイツ語ＡⅠ・ＡⅡ、ドイツ語ＢⅠ・ＢⅡ、ドイツ語ＣⅠ・ＣⅡ、ドイツ語ＤⅠ・ＤⅡ、ドイツ語ＥⅠ・ＥⅡ」

「フランス語ＡⅠ・ＡⅡ、フランス語ＢⅠ・ＢⅡ、フランス語ＣⅠ・ＣⅡ、フランス語ＤⅠ・ＤⅡ、フランス語ＥⅠ・ＥⅡ」

「中国語ＡⅠ・ＡⅡ、中国語ＢⅠ・ＢⅡ、中国語ＣⅠ・ＣⅡ、中国語ＤⅠ・ＤⅡ、中国語ＥⅠ・ＥⅡ」

「スペイン語ＡⅠ・ＡⅡ、スペイン語ＢⅠ・ＢⅡ、スペイン語ＣⅠ・ＣⅡ、スペイン語ＤⅠ・ＤⅡ、スペイン語ＥⅠ・ＥⅡ」

「朝鮮(韓国)語ＡⅠ・ＡⅡ、朝鮮(韓国)語ＢⅠ・ＢⅡ、朝鮮(韓国)語ＣⅠ・ＣⅡ、朝鮮(韓国)語ＤⅠ・ＤⅡ、朝鮮(韓国)語ＥⅠ・ＥⅡ」

「ポルトガル語・ブラジル語ＡⅠ・ＡⅡ、ポルトガル語・ブラジル語ＢⅠ・ＢⅡ、ポルトガル語・ブラジル語ＣⅠ・ＣⅡ、ポルトガル語・ブラジル語ＤⅠ・ＤⅡ、ポルトガル語・ブラジル語ＥⅠ・ＥⅡ」

各国語とも、１学年においては、ＡⅠ・ＡⅡ、ＢⅠ・ＢⅡの４科目（各1単位、計４単位）を、２学年においては、ＣⅠ・ＣⅡ、ＤⅠ・ＤⅡ、ＥⅠ・ＥⅡの６科目（各1単位、計６単位）を履修します。

(b)外国人留学生は、1学年において、「(外)日本語ＡⅠ・ＡⅡ、(外)日本語ＢⅠ・ＢⅡ」（各1単位、計４単位）を履修し、2学年において、「(外)日本語CⅠ・ＣⅡ、(外)日本語ＤⅠ・ ＤⅡ、(外)日本語ＥⅠ・ＥⅡ」（各1単位、計６単位）を履修します。

2）　キャリア科目

キャリア科目からは４単位以上を修得しなければなりません。

キャリア科目のうち「ＲＫＵ入門」「海外研修」「就職準備講座」および「資格関連科目」は、履修登録を行いません。また、これらの科目は、成績評価を付与せず、単位の修得の認定のみを行います。

(a)　ＲＫＵ入門

入学直後に行われる導入教育であり、ゼミやガイダンス、各種の講座などから構成されます。すべての入学生が履修すべき科目です。

①単位は、「ＲＫＵ入門」の中で行われるゼミやガイダンス、各種の講座などへの出席により認定します。

②1学年の春学期に1単位を認定します。

(b)　海外研修

「留学に関する規則」に基づき、「海外研修」2単位を認定します。

(c)　就職準備講座

主として3年生を対象に行われる就職支援センター主催の就職支援プログラムで、あらかじめ指定したもの

への出席をもって単位を認定します。

①単位の認定は、就職支援センターの「就職委員会」が原案を作成し、教授会の議を経て決定します。

②プログラムへの1年次からの累積出席回数が、指定したプログラム数の2/3を超えた学生が対象となります。

③3学年の秋学期に1単位を認定します。

(d) 資格関連科目

大学開設の課外講座が対象とする資格試験や検定試験などに合格した者に単位を認定します。

①合格した試験の種類により、入学年度別教育課程表の「資格・検定試験の種類」にある単位を認定します。

②単位認定は、秋学期定期試験期間終了時までに申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時までに申請があった場合は春学期に行います。

③単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時までに申請してください。

④卒業単位として認められる単位は最大20単位です。

⑤資格関連科目で単位認定される資格のうち法学に関係の深い一部のものについては、下の表の通り、認定する単位数を加算します。４単位分までは資格関連科目による認定単位とし、これを超える部分については、「法学関連科目の単位認定」に関する規定を準用して単位認定を行います。

資格の種類	認定単位（合計）	資格関連科目による認定単位数	法学関連科目の単位認定に準じて認定する単位数
司法書士	12	4	8
行政書士	10	4	6
社会保険労務士	10	4	6
宅地建物取引士（旧名称：宅地建物取引主任者）	8	2	6
通関士	10	4	6

3) 教養基礎科目

自由に選択して、24単位以上を履修します。

4) 専門基礎科目

ビジネス法学科と自治行政学科の各学科において、すべての学生が履修するのにふさわしい専門科目を配置しました。学修すべき分野が両学科で異なるところがあるため、配置されている科目も両学科で一部異なっています。自由に選択して、３６単位以上を履修しなければなりません。

（イ）選択科目

1) 専門発展科目

ここには、各学科の学生が自らのもつ学問的興味や将来の進路希望に応じて履修するのが適当な専門科目が置かれています。配置されている科目は、両学科で一部異なっています。自身に適切な科目を探して積極的に履修してください。

2)　学部共通科目と副専攻

学部共通科目には、所属学部・学科の学問分野（これを主専攻とよびます）とは別の、下記の各学問分野の科目（他の学部・学科の専門基礎・発展科目に当たる科目です）が置かれています。主専攻の枠を超えて他の学問分野の科目をも履修することで複数の学問分野を学修することにより、現代社会が求めている複眼的な視野と能力を養い、個性あふれる人材を育成することを目的としています。

学部共通科目の学問分野

・経済学
・経営学
・社会学
・流通情報学
・スポーツ健康科学

学部共通科目は、いくつの学問分野からでも、一分野ごとの履修単位数の上限もなく、自由に履修することができます。そして、一つの学問分野から20単位以上を修得した場合には、卒業時にその分野の「副専攻」を修了したことの認定をします。

なお、スポーツ健康科学の各科目は、龍ケ崎キャンパスでのみ開講されます。したがって、新松戸キャンパス所属の学生がこの科目を履修するには「他キャンパス受講」制度によらなければなりません。

3)　教養発展科目・外国語科目・体育科目

教養発展科目、外国語関係の科目および体育の実技科目が用意されています。興味のある学生は積極的に履修してください。

4)　教職科目

教職免許の取得に必要な科目であって、教育課程表に組み入れられているものについては、20単位まで卒業に必要な単位に算入することができます。

20. 卒業に必要な総単位数

卒業するのに必要な必修科目、選択必修科目、選択科目の合計単位数は、以下の通りです。

ビジネス法学科・自治行政学科共通

<table>
<tr><td colspan="5">2008年度以降の入学生</td></tr>
<tr><td colspan="3">授　業　科　目</td><td>修得すべき単位数</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">必修科目</td><td colspan="2">演習</td><td>16</td><td rowspan="3">30</td></tr>
<tr><td colspan="2">教養コア科目・情報科目</td><td>6</td></tr>
<tr><td colspan="2">専門コア科目</td><td>8</td></tr>
<tr><td rowspan="2">選択必修科目</td><td colspan="2">外国語</td><td>10</td><td>10</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャリア科目</td><td>4</td><td rowspan="9">84</td></tr>
<tr><td colspan="2">教養基礎科目</td><td>24</td></tr>
<tr><td colspan="2">専門基礎科目</td><td>36</td></tr>
<tr><td rowspan="9">選択科目</td><td colspan="2">専門発展科目</td><td rowspan="9"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">学部共通科目</td><td>経済学</td></tr>
<tr><td>経営学</td></tr>
<tr><td>社会学</td></tr>
<tr><td>流通情報学</td></tr>
<tr><td>スポーツ健康科学</td></tr>
<tr><td rowspan="3">教養発展科目</td><td>教養発展科目</td></tr>
<tr><td>外国語</td></tr>
<tr><td>体育</td></tr>
<tr><td colspan="2">教職科目</td></tr>
<tr><td colspan="3">合計</td><td colspan="2">124</td></tr>
</table>

（　）の中の数字は外国人留学生

21. 資格の取得について

⑴社会福祉主事（任用資格）

厚生労働大臣の指定する科目を修めて卒業した者に与えられる任用資格であり、法学部では以下の科目から３科目（Ⅰ・Ⅱを合わせて１科目と数えます）以上を履修し卒業した者に与えられます。

2009年度以降の入学生

社会保障論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ、公的扶助論、老人福祉論、障害者福祉論、地域福祉論Ⅰ・Ⅱ、介護福祉論、福祉行財政と福祉計画論、心理学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ

2008年度入学生

社会保障論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ、公的扶助論Ⅰ・Ⅱ、児童福祉論Ⅰ・Ⅱ、老人福祉論Ⅰ・Ⅱ、地域福祉論Ⅰ・Ⅱ、障害者福祉論Ⅰ・Ⅱ、介護概論Ⅰ・Ⅱ

2007年度以前の入学生

社会保障論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ、公的扶助論Ⅰ・Ⅱ、児童福祉論Ⅰ・Ⅱ、老人福祉論Ⅰ・Ⅱ、地域福祉論Ⅰ・Ⅱ、障害者福祉論Ⅰ・Ⅱ、法学Ⅰ・Ⅱ

履修上の留意点

＊Ⅰ・Ⅱと分かれている科目（たとえば、地域福祉論Ⅰ・Ⅱ）は、通年で（Ⅰ・Ⅱともに）履修しなければなりません。Ⅰ・Ⅱを合わせて１科目と数えます。

＊任用資格とは、就職したうえで初めて活かすことのできる資格です。就職のための資格ではありませんので、よく考えて履修してください。

＊３科目以上を履修し卒業すれば任用資格を取得できますが、実務上は、６科目以上履修し卒業することが望まれます。

⑵教員免許

中学校や高等学校などの教員資格を取得するための案内は、別冊「教職課程履修の手引き」を参照してください。

⑶ 公益社団法人　日本体育協会「公認スポーツ指導者」について

日本体育協会は、国民のスポーツ振興と競技力向上にあたる各種スポーツ指導者の資質と指導力の向上をはかり、指導活動の促進と指導体制を確立、総合型地域スポーツクラブでのスタッフの育成を図るため、「（財）日本体育協会公認スポーツ指導者制度」を制定しています。

将来、スポーツ指導者、総合型地域スポーツクラブでのスタッフ等を目指す学生は、日本体育協会資格一覧の資格を取得することが望まれます。

「共通科目Ⅰ・Ⅱ」の修了証は下記の表に示す科目の単位を取得し、申請を行ったものが取得できます。また、「共通科目Ⅰ・Ⅱ」の修了証の申請と同時に、「スポーツリーダー」の資格取得が同時にできます。

2010年度以降入学生

No.	科目名	単位数
1	スポーツと文化	2
2	コーチング論	2
3	スポーツと法Ⅰ　または　スポーツと法（事故・人権）	2
4	トレーニング論	2
5	発育発達老化の理論・実習	2
6	スポーツ栄養学Ⅰ	2
7	スポーツ社会学	2
8	スポーツ外傷・障害と予防	2
9	スポーツ心理学	2
10	スポーツマネジメント論	2

2009年度以前入学生

No.	科目名	単位数
1	スポーツ文化論	2
2	コーチ学	2
3	スポーツと法Ⅰ　または　スポーツと法	2
4	スポーツトレーニング論	2
5	発育・発達論	2
6	スポーツと栄養Ⅰ	2
7	スポーツ・ジェンダー論（スポーツと女性）	2
8	スポーツ外傷・障害と予防	2
9	スポーツ心理学	2
10	スポーツマネジメント論	2

これらの申請は、卒業年次のみにしか受け付けることができません。卒業後の申請は、いかなる理由であれ認められませんので、注意してください。申請には別途申請料を徴収します。

日本体育協会が認定する様々な資格を取得するためには、日本体育協会が開催する講習会等に出席し、各専門科目を取得する必要があります。

資格の詳細は、日本体育協会のホームページで確認してください。

http://www.japan-sports.or.jp/

日本体育協会資格一覧

スポーツ指導基礎資格

（h=時間）

資格	内容	要件
スポーツリーダー	・地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたる。	共通I

競技別指導者資格

資格	内容	要件
指導員	・地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に、競技別の専門知識を活かし、個々人の年齢や性別などの対象に合わせた指導にあたる。	共通I 専門:40h以上
上級指導員	・地域スポーツクラブ等において、年齢、競技レベルに応じた指導にあたる。 ・事業計画の立案などクラブ内指導者の中心的な役割を担う。	共通I+II 専門:20h以上
コーチ	・地域において、競技者育成のための指導にあたる。 ・広域スポーツセンターや各競技別のトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる。	共通I+II+III 専門:60h以上
上級コーチ	・ナショナルレベルのトレーニング拠点において、各年代で選抜された競技者の育成強化にあたる。	共通I+II+III+IV 専門:40h以上
教師	・商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として、質の高い実技指導を行う。	共通I+II+III 専門:80h以上
上級教師	・商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として質の高い実技指導を行う。 ・会員（顧客）が満足できるよう、個々人の年齢や性別、技能レベルやニーズなどに合わせたサービスを提供する。	共通I+II+III+IV 専門:60h以上

フィットネス系資格

資格	内容	要件
ジュニアスポーツ指導員	・地域スポーツクラブ等において、幼・少年期の子どもたちに遊びを通した身体づくり、動きづくりの指導を行う。	共通I 専門:40h
スポーツプログラマー	・主として青年期以降のすべての人に対し、地域スポーツクラブなどにおいて、フィットネスの維持や向上のための指導・助言を行う。	共通I+II 専門:63h

メディカル・コンディショニング系資格

資格	内容	要件
アスレティックトレーナー	・スポーツドクター及びコーチとの緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等にあたる。	共通I+II+III 専門:600h
スポーツ栄養士	・スポーツ活動現場において、競技者の栄養・食事に関する専門的なサポートにあたる。 ・競技者の栄養・食事に関する自己管理能力を高める栄養教育を行う。	共通I+II+III 専門:116.5h

マネジメント資格

資格	内容	要件
アシスタントマネジャー	・総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブマネジメントのための諸活動をサポートする。	共通I 専門:35h
クラブマネジャー	・総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブの経営資源を有効に活用し、クラブ会員が継続的に快適なクラブライフを送ることができるよう健全なマネジメントを行う。	共通I 専門:167.5h

22. コース制と履修モデル・ガイドライン

（2013 年度以降入学生）

法学部では、学生の皆さんが、それぞれの将来の進路希望や学問的興味に応じて授業科目を計画的に履修し体系的な学修ができるように、2008年度から、**ビジネス法学科**には、**法と国際ビジネスコース**、**法律専門職コース**および**法とスポーツビジネスコース**の3コースを、**自治行政学科**には、**公共法務コース**および**法と文化・スポーツコース**の2コースを設けました。そして、それぞれのコースごとに履修のガイドラインを提示しました。

学生の皆さんは、所属する学科の枠内であれば、これらのコースの中から希望するコースを自由に選ぶことができます。どれか1つのコースを選び、履修のガイドラインを参考にしながら、自分なりの履修計画を作成し、希望の実現のために学修してください。

なお、コースを変更するのも自由ですし、履修のガイドラインに含まれていない科目でも履修できないというわけでは決してありません。また、履修の順序も科目の配列順でなければならないということもありません。

ビジネス法学科

法と国際ビジネスコース・・・民法、商法、金融取引法、経済法、消費者法、国際ビジネス法などを中心に学びます。国際的にますます重要となるコーポレート・ガバナンスやコンプライアンスの意義を理解し、国内外金融、製造、物流などのビジネスシーンで活躍できる人材を育成するコースです。

法律専門職コース・・・憲法、民法、刑法、商法、行政法、民事訴訟法、刑事訴訟法などを中心に学びます。目標は、法律関係の資格取得のみならず、リーガルマインドの重要性を認識し、官民いずれの世界においても有益な人材を目指すコースです。

法とスポーツビジネスコース・・・法と文化、スポーツと法、民法、商法、労働法、法社会学などを中心に学びます。スポーツを広くビジネスとして捉え、公務のみならず、国内外の企業や教育の現場で輝くための人材を育成するコースです。

自治行政学科

公共法務コース・・・憲法、民法、行政法、政治学、行政学、地方自治論などを中心に、公共分野のガバナンスにおける政策形成能力の修得が課題となります。公務員、議員などをはじめ、国や自治体のガバナンスを支える「協働の時代」にふさわしい人材を目指すコースです。

法と文化・スポーツコース・・・法と文化、まちづくりと法、スポーツと法、法制史などを中心に学びます。Think globally, act locally（地球規模で考えつつ、地域に根ざした行動）をモットーに、公務のみならず国内外の企業や教育の現場で輝く人材を育成するコースです。

23. コース制と履修モデル・ガイドライン

（2008 年度～ 2012 年度入学生）

法学部では、学生の皆さんが、それぞれの将来の進路希望や学問的興味に応じて授業科目を計画的に履修し体系的な学修ができるように、2008年度から、**ビジネス法学科**には、**総合ビジネスコース**、**法職コース**および**法と文化・スポーツコース**の3コースを、**自治行政学科**には、**公共法務コース**および**法と文化・スポーツコース**の2コースを設けました。そして、それぞれのコースごとに履修のガイドラインを提示しました。

学生の皆さんは、所属する学科の枠内であれば、これらのコースの中から希望するコースを自由に選ぶことができます。どれか1つのコースを選び、履修のガイドラインを参考にしながら、自分なりの履修計画を作成し、希望の実現のために学修してください。

なお、コースを変更するのも自由ですし、履修のガイドラインに含まれていない科目でも履修できないというわけでは決してありません。また、履修の順序も科目の配列順でなければならないということもありません。

ビジネス法学科

総合ビジネスコース・・・民法、商法、金融取引法、経済法、消費者法など、ビジネスに関わる分野を中心に学びます。今後ますます求められるコーポレート・ガバナンスやコンプライアンスの意義を理解し、現代のビジネスシーンで活躍できる人材を育成するコースです。

法職コース・・・憲法、民法、刑法、商法、行政法、民事訴訟法、刑事訴訟法などを中心に学びます。法律関係の資格取得のみならず、リーガルマインドの重要性を認識し、官民いずれの世界においても有益な人材を目指すコースです。

法と文化・スポーツコース・・・法と文化（アジア、欧米）、まちづくりと法、観光と法、スポーツと法、法制史などを中心に学びます。Think globally, act locally（地球規模で考えつつ、地域に根ざした行動）をモットーに、公務のみならず国内外の企業や教育の現場で輝く人材を育成するコースです。

自治行政学科

公共法務コース・・・憲法、行政法、政治学、行政学、地方自治論などを中心に、公共分野のガバナンスにおける政策形成能力の修得が課題となります。公務員、議員などをはじめ、国や自治体のガバナンスを支える「協働の時代」にふさわしい人材を目指すコースです。

法と文化・スポーツコース・・・法と文化（アジア、欧米）、まちづくりと法、観光と法、スポーツと法、法制史などを中心に学びます。Think globally, act locally（地球規模で考えつつ、地域に根ざした行動）をモットーに、公務のみならず国内外の企業や教育の現場で輝く人材を育成するコースです。

（2013 年度以降入学生）

ビジネス法学科

	法と国際ビジネスコース	法律専門職コース	法とスポーツビジネスコース
1年次	国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ ビジネス法入門 法とキャリア（入門） 法とキャリア（初級）Ⅰ・Ⅱ	国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ ビジネス法入門 法とキャリア（入門） 法とキャリア（初級）Ⅰ・Ⅱ	国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ ビジネス法入門 法とキャリア（入門）
2年次	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 民法（債権総論） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（中国）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（韓国）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（日本）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（欧米）Ⅰ・Ⅱ 経営学総論Ⅰ・Ⅱ	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 民法（債権総論） 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 刑法（各論）Ⅰ・Ⅱ 法務・行政実習 法とキャリア（中級・私法1）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（中級・公法1）Ⅰ・Ⅱ	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 民法（債権総論） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（日本）Ⅰ・Ⅱ スポーツと法（公法） スポーツと法（行政） スポーツと文化 スポーツ心理学
3・4年次	民法（契約法） 民法（不法行為法） 商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 商法（総則・商行為法） 商法（手形・小切手法） 国際ビジネス法Ⅰ・Ⅱ 企業会計法Ⅰ・Ⅱ 金融取引法 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ 消費者法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 物流関係法 商法（保険法） 知的財産法 環境と法 法とコミュニケーション（英語）Ⅰ・Ⅱ 外国法Ⅰ・Ⅱ	民法（契約法） 民法（不法行為法） 商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 行政法（行政作用法）Ⅰ・Ⅱ 行政法（行政救済法）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（中級・私法2）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（中級・公法2）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（総合1）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（総合2）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（総合3）Ⅰ・Ⅱ	労働法Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ 民法（契約法） 民法（不法行為法） 商法（総則・商行為法） 商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 国際ビジネス法 環境と法 法とコミュニケーション（英語）Ⅰ・Ⅱ スポーツと法（契約） スポーツと法（事故・人権） スポーツと国際関係 スポーツとメディア スポーツマネジメント論 スポーツ社会学 スポーツ外傷・障害と予防 コーチング論 トレーニング論 健康づくりとジョギング

自治行政学科

	公共法務コース	法と文化・スポーツコース	
1年次	国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ 自治行政入門 法とキャリア（入門） 法とキャリア（初級）Ⅰ・Ⅱ	国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ 自治行政入門 法とキャリア（入門） 法とキャリア（初級）Ⅰ・Ⅱ	国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ 自治行政入門 法とキャリア（入門） 法とキャリア（初級）Ⅰ・Ⅱ
2年次	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 民法（債権総論） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 行政法（行政作用法）Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（中級・私法1）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（中級・公法1）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（総合1）Ⅰ・Ⅱ 経済学概論Ⅰ・Ⅱ	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 民法（債権総論） 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ 法と文化（日本）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（中国）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（韓国）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（欧米）Ⅰ・Ⅱ 法務・行政実習	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 民法（債権総論） 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ 法と文化（日本）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（中国）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（韓国）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（欧米）Ⅰ・Ⅱ スポーツと法（公法） スポーツと法（行政）
3・4年次	民法（契約法） 民法（不法行為法） 行政法（行政救済法）Ⅰ・Ⅱ 地方自治論Ⅰ・Ⅱ 日本政治論Ⅰ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 租税法Ⅰ・Ⅱ 地方自治法 環境政策 公共政策Ⅰ・Ⅱ コミュニティ政策論 刑法（各論）Ⅰ・Ⅱ 刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 社会保障法Ⅰ・Ⅱ 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（中級・私法2） 法とキャリア（中級・公法2） 法とキャリア（総合2）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（総合3）Ⅰ・Ⅱ	民法（契約法） 民法（不法行為法） 刑法（各論）Ⅰ・Ⅱ 消費者法Ⅰ・Ⅱ 地方自治論Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法 観光と法 外国法Ⅰ・Ⅱ 環境政策	地方自治論Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ 日本政治論Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法 観光と法 スポーツと法（契約） スポーツと法（事故・人権） スポーツと文化 コーチング論 トレーニング論 発育発達老化の理論・実習 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ社会学 スポーツ外傷・障害と予防 スポーツ心理学 スポーツマネジメント論

（2010 年度～ 2012 年度入学生）

ビジネス法学科

	総合ビジネスコース	法職コース	法と文化・スポーツコース	
1年次	国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（入門） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（初級）Ⅰ・Ⅱ	国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（入門） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（初級）Ⅰ・Ⅱ	国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（入門） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ	国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（入門） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ
2年次	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 民法（債権総論） 民法（契約法） 商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 商法（総則・商行為法） 経営学総論Ⅰ・Ⅱ	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 民法（債権総論） 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 刑法（各論）Ⅰ・Ⅱ 法務・行政実習 法とキャリア（中級・私法）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（中級・公法）Ⅰ・Ⅱ	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 民法（債権総論） 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 刑法（各論）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（アジア）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（欧米）Ⅰ・Ⅱ 法務・行政実習	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 民法（債権総論） 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（アジア）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（欧米）Ⅰ・Ⅱ スポーツと法（契約） スポーツと法（事故・人権）
3・4年次	民法（不法行為法） 商法（手形・小切手法） 国際ビジネス法Ⅰ・Ⅱ 企業会計法Ⅰ・Ⅱ 金融取引法 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ 消費者法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 物流関係法Ⅰ・Ⅱ 商法（保険法） 知的財産法 環境と法	民法（契約法） 民法（不法行為法） 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 行政法（行政作用法）Ⅰ・Ⅱ 行政法（行政救済法）Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義（基礎法）Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義（私法1）Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義（私法2）Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義（公法1）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（総合1）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（総合2）Ⅰ・Ⅱ	民法（契約法） 民法（不法行為法） 刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 消費者法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法 観光と法 外国法Ⅰ・Ⅱ 環境と法	消費者法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法 観光と法 スポーツと文化 スポーツと国際関係 スポーツとメディア スポーツマネジメント論 スポーツ心理学 スポーツ社会学 スポーツ外傷・障害と予防 コーチング論 トレーニング論 健康づくりとジョギング

自治行政学科

	公共法務コース	法と文化・スポーツコース	
1年次	国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（入門） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（初級）Ⅰ・Ⅱ	国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（入門） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（初級）Ⅰ・Ⅱ	国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（入門） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（初級）Ⅰ・Ⅱ
2年次	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 民法（債権総論） 行政法（行政作用法）Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ 地方自治論Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（中級・私法）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（中級・公法）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（総合1）Ⅰ・Ⅱ 経済学概論Ⅰ・Ⅱ	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 民法（債権総論） 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ 地方自治論Ⅰ・Ⅱ 法と文化（アジア）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（欧米）Ⅰ・Ⅱ 法務・行政実習	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 民法（債権総論） 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ 地方自治論Ⅰ・Ⅱ 法と文化（アジア）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（欧米）Ⅰ・Ⅱ スポーツと法（契約） スポーツと法（事故・人権）
3・4年次	民法（契約法） 民法（不法行為法） 行政法（行政救済法）Ⅰ・Ⅱ 日本政治論Ⅰ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 租税法Ⅰ・Ⅱ 地方自治法 環境政策 都市政策論Ⅰ・Ⅱ 地域社会論 刑法（各論）Ⅰ・Ⅱ 刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 社会保障法Ⅰ・Ⅱ 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（総合2）Ⅰ・Ⅱ	民法（契約法） 民法（不法行為法） 刑法（各論）Ⅰ・Ⅱ 消費者法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法 観光と法 外国法Ⅰ・Ⅱ 環境政策	法社会学Ⅰ・Ⅱ 日本政治論Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法 観光と法 スポーツと文化 コーチング論 トレーニング論 発育発達老化の理論・実習 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ社会学 スポーツ外傷・障害と予防 スポーツ心理学 スポーツマネジメント論

（2008・2009 年度入学生）

ビジネス法学科

	総合ビジネスコース	法職コース	法と文化・スポーツコース	
1年次	国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（入門） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（初級）Ⅰ・Ⅱ	国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（入門） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（初級）Ⅰ・Ⅱ	国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（入門） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ	国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（入門） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ
2年次	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 民法（債権総論） 民法（契約法） 商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 商法（総則・商行為法） 経営学総論Ⅰ・Ⅱ	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 民法（債権総論） 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 刑法（各論）Ⅰ・Ⅱ 法務・行政実習 法とキャリア（中級・私法）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（中級・公法）Ⅰ・Ⅱ	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 民法（債権総論） 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 刑法（各論）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（アジア）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（欧米）Ⅰ・Ⅱ 法務・行政実習	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 民法（債権総論） 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（アジア）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（欧米）Ⅰ・Ⅱ スポーツと法Ⅰ・Ⅱ
3・4年次	民法（不法行為法） 商法（手形・小切手法） 国際ビジネス法Ⅰ・Ⅱ 企業会計法Ⅰ・Ⅱ 金融取引法 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ 消費者法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 物流関係法Ⅰ・Ⅱ 商法（保険法） 知的財産法	民法（契約法） 民法（不法行為法） 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 行政法（行政作用法）Ⅰ・Ⅱ 行政法（行政救済法）Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義（基礎法）Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義（私法1）Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義（私法2）Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義（公法1）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（総合1）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（総合2）Ⅰ・Ⅱ	民法（契約法） 民法（不法行為法） 刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 消費者法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法 観光と法 外国法Ⅰ・Ⅱ	消費者法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法 観光と法 スポーツ文化論 スポーツ産業論 スポーツメディア論 スポーツマネジメント論 スポーツ心理学 スポーツジェンダー論（スポーツと女性） スポーツ外傷・障害と予防 コーチ学 スポーツトレーニング論 健康づくりとジョギング

自治行政学科

	公共法務コース	法と文化・スポーツコース	
1年次	国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（入門） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（初級）Ⅰ・Ⅱ	国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（入門） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（初級）Ⅰ・Ⅱ	国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（入門） 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（初級）Ⅰ・Ⅱ
2年次	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 民法（債権総論） 行政法（行政作用法）Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ 地方自治論Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（中級・私法）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（中級・公法）Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（総合1）Ⅰ・Ⅱ 経済学概論Ⅰ・Ⅱ	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 民法（債権総論） 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ 地方自治論Ⅰ・Ⅱ 法と文化（アジア）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（欧米）Ⅰ・Ⅱ 法務・行政実習	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法（物権） 民法（債権総論） 民法（家族法）Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ 地方自治論Ⅰ・Ⅱ 法と文化（アジア）Ⅰ・Ⅱ 法と文化（欧米）Ⅰ・Ⅱ スポーツと法Ⅰ・Ⅱ
3・4年次	民法（契約法） 民法（不法行為法） 行政法（行政救済法）Ⅰ・Ⅱ 日本政治論Ⅰ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 租税法Ⅰ・Ⅱ 地方自治法 行政管理論Ⅰ・Ⅱ 都市政策論Ⅰ・Ⅱ 地域社会論 刑法（各論）Ⅰ・Ⅱ 刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 社会保障法Ⅰ・Ⅱ 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア（総合2）Ⅰ・Ⅱ	民法（契約法） 民法（不法行為法） 刑法（各論）Ⅰ・Ⅱ 消費者法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法 観光と法 外国法Ⅰ・Ⅱ	法社会学Ⅰ・Ⅱ 日本政治論Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法 観光と法 スポーツ文化論 コーチ学 スポーツトレーニング論 発育・発達論 スポーツと栄養Ⅰ スポーツジェンダー論（スポーツと女性） スポーツ外傷・障害と予防 スポーツ心理学 スポーツマネジメント論

2016年（平成28年）4月発行

法　学　部

履　修　要　綱

流通経済大学

RKU

http://www.rku.ac.jp